

學校器具 學校諸器具ノ類
 驗習費 理化學驗習用藥品等
 薪炭油費
 生徒賞與費 生徒勉勵賞與ノ類
 借地借家費
 雜費 消耗品印刷費郵便電信運搬費賄費諸品借指料等ノ類
 新築費
 修繕費 新營、修繕ノ類
 何々 (小學簡易科ハ此科目ニ準ス)
 ○訓令第八十二號 二十年一月二十九日 郡役所 戶長役場 小學校
 小學校資產管理規程左之通相定ム
 小學校資產管理規程

第一條 小學校ノ資産ハ郡長戶長及校長主座教員ノ管理保護スヘキモノトス
 第二條 小學校ノ資産ヲ分テ左ノ四種トス
 第一種 學田山林
 第二種 學資金
 第三種 敷地建物
 第四種 書籍器械標品及雜具ノ類
 第三條 前條ノ資産中第一種乃至第三種ハ郡長若クハ戶長第四種ハ校長若クハ主座教員ニ於テ之ヲ管理保護スヘシ
 第四條 第二條ノ資産ハ各種喜帳ヲ設ケ資産ノ種類員數等ヲ詳記シ且増減變更等ノ事由ヲ明瞭ニスヘシ
 第五條 第二條ノ資産ハ之ヲ支消スルカヲサルカ勿論其收利學校經費ノ二分ノ一ニ至ラサル間ハ總テ原資ニ組入ルヘシ若不得已場合アリテ之ヲ支消セントスルキハ其事情ヲ

詳具シ縣廳へ提出スヘシ

但第二條第四種ノ資産ニシテ不用ニ屬スルモノハ校長若クハ主座教員ノ申出ニ依リ郡長若クハ戸長ニ於テ適宜賣却シ其代價ハ第二種ニ組入ルヘシ

第六條 第二種ノ資金ハ正確ナル保護及利倍増殖ノ爲メ他ノ資産ニ換フルカ若クハ官設貯金預所へ預入ルヘシ

第七條 第二條第四種ノ資産ニ破損等ヲ生スル片ハ其事由ヲ具シ郡長若クハ戸長へ報告スヘシ

第八條 學校資産臺帳ハ別紙書式ニ準據シ調製スヘシ

第九條 小學簡易科授業所ノ資産管理ハ本則ニ準ス

第十條 資産ノ管理保護ハ掛官ヲシテ臨時其實況ヲ監査セシムヘシ

年 月 日 調 製

郡學區學校 自第一種 至第三種 資産臺帳

郡 役 所

或ハ

戸 長 役 場

學田之部

田 地

一町反畝步 郡町(村)字何々

此地價 圓

但 年 月 日 郡町(村)何某ヨリ寄附或ハ買得此實價 圓學資金或ハ何年度經費

ヨリ支拂等

畑 地

一町反畝步 郡町(村)字何々

此地價 圓

一 但年 月 日郡町(村)何某ヨリ寄附或ハ買得此實價 圓學資金或ハ何年度經費
ヨリ支拂等

通計町反畝步

内 田地町反畝步
畑地町反畝步

内 田地町反畝步

郡町(村)字何々

但何々ノ理由ニヨリ 年月 日許可濟代價 圓ニテ賣却ス且代價ハ學資

金或ハ何年度經費へ受込

別町反畝步

内 田地町反畝步
畑地町反畝步

(此書式ハ單一ノ例ヲ示セルモノナリ故ニ増損等記帳ノ際可及的詳細記載ノ一目瞭
然タラシムヘシ以下書式皆同シ)

山林ノ部

山或ハ林

一町反畝步

郡町(村)字何々

此地價 圓

但 年月 日郡町(村)何某ヨリ寄附或ハ買得此實價 圓學資金或ハ何年度經費

ヨリ支拂等

(此書式ハ學田ノ例ニ據ルヘシ)

公債證書ノ部

一金祿公債證書

額面金 圓

何朱利

内

金 圓券 號 番 壹枚

但 年月 日郡町(村)何某ヨリ寄附或ハ買得此實價 圓學資金或ハ何年度經費

ヨリ支拂等

一起業公債證書

額面金 圓

内

金 圓券 號 番 壹枚

金 圓券 號 番 壹枚

金 圓券 號 番 壹枚

但年月日郡町(村)何某ヨリ寄附或ハ買得此實價 圓學資金或ハ何年度經費

ヨリ支拂等

通計金 圓 券數 枚

内 金 圓券 號 番 壹枚

〔減損ヲ記帳スル
トキハ原ト買得〕

内

〔ノ際記帳ノ部ヲ
朱引消込ムヘシ〕

金祿公債證書

額面金 圓 號 番 壹枚

但何々ノ理由ニヨリ年月日許可濟代價 圓ニテ賣却ス且代價ハ學資金或

ハ何年度經費へ受込ム

差引金 圓 券數 枚

内 金 圓券 號 番 壹枚

起業公債證書金 圓 券數 枚

學資金ノ部

年 月 日 寄 附 金

一金 圓 但郡町(村)何某ヨリ學資トシテ寄附本日上納

一金 圓 學 田 收 穫

但學田何町反畝步何年ノ收穫米或ハ麥何俵ノ賣却代一俵ニ付金何圓本日收納

一金 圓 山林收穫

但山林何町反畝步ヨリ生メル材木何本賣却代壹本ニ付金何圓本日收納

一金 圓 公債證書利子

但金祿或ハ起業公債證書額面何圓(何朱利)ニ對スル年月渡利子本日收納

一金 圓 書籍或ハ器械賣却代

但書籍何々何部器械何々何個不用ニ付賣却代一部或ハ一個ニ付金何圓本日收納

一金 圓 何々々

但何々

通計金 圓

内

金 圓

何月何日支拂

但何々ノ理由ニヨリ年月日許可濟何々支出スヘキ分本日支拂

差引金 圓

年月日

一金 圓 何々々

但何々

通計金 員

土地ノ部

學田ノ書式ニ準據スヘキ

建物ノ部

建家

年 月 日	新開事由	個數	減損事由	減損個數	現在數	何年何月何日	
						本抄 建坪坪歩	金 圓
		代 個				金 圓	金 圓

明治二十年一月 訓令

五百四十八

何年何月何日	物置		何年何月何日何々ノ事由ニ付取毀ナ	一ヶ所	現在數	
	建坪坪歩	金一棟			金二ヶ所	圓
何年何月何日	器械室	金一棟			金三ヶ所	圓
	建坪坪歩	金一棟			金二ヶ所	圓

(増損ノ都度現在數ノ欄ニ其取捨スル所ノ現在數ヲ詳記スヘシ)

(建物中硝子戸、板戸、疊其他種類ヲ異ニスルモノハ各業ニ調製スヘシ)

年月日 調製

郡學區學校第四種資産臺帳

學 校
或ハ
授 業 所

第四種資産

書籍ノ部

年 月 日	新調事由	代 價		減 損 事 由	減 損 個 數	現 在 數	
		金 一 部	圓 部			金 一 部	圓 部
何年何月何日	教科書何科用	金 一 部	圓 部			金 一 部	圓 部
何年何月何日	参考書何科用	金 一 部	圓 部	何年何月何日何々ノ事由ニ付破損等	一 部	金 二 部	圓 部
何年何月何日	同	金 一 部	圓 部			金 三 部	圓 部
		金 一 部	圓 部			金 二 部	圓 部

(増損ノ都度現在數ニ其取捨スル所ノ現在數ヲ詳記スヘシ)

(書籍、器械、器具等種類ヲ異ニスルモノハ各業ニ調製スヘシ)

○訓令第九十二號 二十年一月三十一日 郡 役 所

租税不納ノ爲メ地所建物船舶ノ公賣處分ニ着手スル片又ハ其公賣處分ヲ取消シタル片ハ速ニ其旨ヲ公賣財産所在地ヲ管轄スル登記所へ通報スヘシ

○十八年乙第百三十四號徵兵旅費定則中正誤 二十年一月

明治十八年(九月)乙第百三十四號達徵兵旅費定則第一條滞在日當金貳拾錢ハ金貳拾貳錢

明治二十年三月 訓令

五百四十九

ノ誤植

○訓令第九十六號 二十年二月二日

郡役所

本年第十九號告示賣藥印紙交換手續左之通心得ヘシ

一賣藥營業者其行商者ヲシテ各地ニ配置セシメタル賣藥ノ印紙交換ヲ請フトキハ藥品ノ
種目箇數及印紙ノ種類價格ヲ仕譯シタル願書三通ヲ差出サシメ兼テ所持スル所ノ賣藥
行商鑑札ヲ認シ而シテ交換規則ニ從ヒ檢査ヲ遂クヘシ

一前項願出ニヨリ檢査ヲ終ヘタル片ハ既貼印紙ヲ消印又ハ切斷シ該願書ニ檢了ノ旨ヲ証

明シ其一通ヲ縣廳ニ差出シ他ノ一通ヲ願主ニ下付シ餘ノ一通ヲ郡役所ニ保存スヘシ

一前項ノ証明ヲ與フルハ其一口ノ印紙價格金拾圓ヨリ少ナカルヘカラス

一賣藥印紙ヲ毀却セシ藥品ハ遞送上取締方極メテ周到嚴密ヲ要スル管ニ付檢了ノ上ハ郡
役所々在地ノ戶長役場ヨリ營業場所在地ノ戶長役場へ遞送セシメ之レカ領收證書ヲ徴
シ而シテ郡役所ノ檢閱ヲ受ケシムヘシ

但本文遞送ニ屬スル費用ノ義ハ總テ願主ノ負擔タルハ勿論トス

○訓令第五號 二十年二月九日

郡役所

十九年訓令第九十一號諸貸付金取扱順序第三條第四條改正(改訂)

○訓令第八號 二十年二月十日

郡役所 戶長役場

勸業幹事 勸業委員

明治十八年(二月)乙第七號達統計材料中第二建物買買及書質入表并ニ第九地所ノ買買及
券面金高表及客年十月訓令第五十五號勸業通信統計報告規則第七條中「地所書質入表」
ノ六字及同書式中「第三〇地所書質入表」ノ一項ヲ刪除ス

○訓令第十號 二十年二月十日

郡役所 戶長役場

本縣小學校經費ニ要スル町村費補助ノ額ハ本年度ニ限リ町村會ニ於テ評決ノ後開申スヘ
○訓令第九號 二十年二月十日

戶長役場

本縣在籍者ニシテ他府縣巡查志願ノ者ヨリ其身分證明書ヲ請求スルハ本年(一月)當縣訓令第四十號ニ據リ證明書ヲ付與スヘシ

○訓令第一百十二號 二十年二月十二日 郡役所 戸長役場

小學校長教員并小學簡易科教員月俸支給方法左之通相定ム

小學校校長教員并ニ小學簡易科教員月俸支給方法

第一條 月俸ハ本縣規定ノ月俸表ニ依リ之ヲ支給スヘシ

第二條 月俸ハ毎月二十六日ニ支給スルモノトス

但休日ニ當ルハ順次繰上ケトス

第三條 月俸ハ新任轉任増俸減俸退職ト總テ其月分ハ日割ヲ以テ支給スルモノトス

第四條 新任ノモノハ就職ノ日ヨリ轉任ノモノハ舊學校ノ事務ヲ終リタル翌日ヨリ起算

シ新任學校ニ於テ俸給ヲ支給スヘシ

第五條 増俸及減俸ハ發令ノ翌日ヨリ計算スヘシ

第六條 退職ハ受書差出ノ日ヲ限リ其際俸給ヲ支給スヘシ且其月俸支給定日後辭令到達

シ渡過ノ俸給アルモノハ其際直ニ返納セシムヘシ

但退職ノモノ舊擔任事務引繼ノ爲メ時日ヲ要スルコトアルモ其俸給ハ支給セサルモノ

トス

第七條 退職ハ受書差出前減俸ハ發令ノ前第十二條第十三條第十五條ノ事情アルニアラ

ズシテ職務ニ従事セサルトキハ最後出勤ノ日ヲ限リ舊俸ヲ支給スヘシ

第八條 轉任ハ舊學校ノ事務ヲ終リタル翌日増俸ハ發令翌日ヨリ第十二條第十三條第十

五條ノ事情アルニアラスシテ職務ニ従事セサルトキハ其出勤ノ日ヨリ起算シ新俸給ヲ

支給スヘシ

第九條 數校ニ亘リ奉務スルモノハ月俸ハ其各校ヨリ割合ヲ以テ支給スヘシ

第十條 公務旅行中廢職死亡等ノ際ハ順路舊校ヘ到着スヘキ日ヲ限リ舊俸ヲ支給スヘ

シ

第十一條 許可ヲ得タルモノト雖歸郷並ニ旅行中(本人發足ノ翌日ヨリ歸校ノ前日マテ)ハ俸給ヲ支給セサルモノトス

但休業中ハ本文ノ限ニアラス

第十二條 前條ノモノ日限中發病又ハ父母病氣看護ノ爲メ期日内ニ歸校シ難キモノ日數ヲ限リ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ歸校延期ノ許可ヲ得タルモノハ許可ノ日ヨリ起算シ第十四條ニ準シテ俸給ヲ支給スヘシ

第十三條 本人ノ病氣又ハ父母看護ノ爲メ休暇ヲ許可セラレタルモノハ其奉職地ニアルト轉地療養トヲ問ハス本人引籠ノ日ヨリ起算シ一ヶ月(三十日)間ハ月俸ノ全額ヲ給シ二ヶ月目三十日間ハ其二分ノ一ヲ給シ三ヶ月目ヨリ其支給ヲ廢スヘシ

第十四條 轉任ノモノ前任ノ學校ニ於テ俸給ノ渡過アルトキハ新任ノ學校ヨリ直ニ返付シ次期ノ俸給ヨリ差引計算スルモノトス

第十五條 忌引中ハ月俸全額ヲ給ス且除服出勤ノモノト雖墓參ノ爲メ歸郷ノ許可ヲ得タ

ルモノハ其忌引日限中ハ月俸全額ヲ支給シ其日限ヲ過レハ第十二條ニ準シ月俸ヲ支給セサルモノトス

但歸郷並ニ旅行中父母ノ喪ニ遇フ者モ亦本文ニ準ス

第十六條 私事訴訟ノ原告トナリ之レカ爲メ出勤セサルモノハ其日數ニ應スル月俸日割金額ヲ支給セサルモノトス

但月俸支給後此場合アルニ於テハ其渡過ニ係ル金額ヲ返納セシムヘシ

第十七條 前條々ニ據リ難キモノアルハ其都度伺出ツヘシ

○訓令第百十三號 二十年二月十二日 郡役所 戸長役場

小學校長教員并小學簡易科教員旅費支給方法左ノ通相定ム

小學校校長教員并小學簡易科教員旅費支給方法

第一條 旅費ハ校長教員公務ニ據リ旅行中一切ノ費用ニ充ツル爲メ左表ニ定ムル所ニ據リ之ヲ支給スヘシ

第二條 前條支給ノ方法ハ明治十九年閣令第十四號及同年大藏省訓令第二十三號ニ據ル

旅費額

等級	區別	月俸	汽車賃		汽船賃		管外車馬賃		管内車馬賃	
			一哩毎ニ	一海里毎ニ	一哩毎ニ	一里毎ニ	一日毎ニ	一日毎ニ		
一 等	拾貳圓以上	金六錢	金六錢	金六錢	金八錢	金六錢	金七拾錢	金五拾錢		
二 等	拾貳圓未満	金五錢	金五錢	金七錢	金五錢	金五拾錢	金三拾錢			

○訓令第百十七號 二十年二月十四日

沿海町村浦役場

神奈川縣橫濱港居留米國人所有木材(樺)日本船惠比須丸ニテ神戸港ヨリ同港へ運送中同
船遠州御前崎沖ニテ覆没セリ若シ右木材漂着セハ相當保護ヲ加へ置其旨速ニ當廳へ届出
ヘシ

○訓令第百二十三號 二十年二月十五日

郡役所 戶長役場

町村會聯合町村會開設期限ノ義ニ付テハ明治十八年(十二月)乙第百八十六號達ノ次第モ

有之候處二十年通常會ニ限リ來三月廿日迄延期ス

但一月中開會難相成モノハ本文乙第百八十六號達但書ノ通心得ヘシ

○訓令第百廿四號 二十年二月十五日

郡役所

地方稅(地租割ヲ除ク)賦課ノ個數及商業工業料理屋飲食店ノ課額戶數人員等自今別表樣
式ニ倣ヒ調製シ左ノ期限ニ從ヒ報告スヘシ (別表零ス)

○訓令第百三十六號 二十年二月十七日

郡役所 戶長役場

明治十八年(三月)乙第十九號町村費支出徵收順序第一條第四項教育費ノ次へ左ノ科目ヲ
增加ス

一 教育補助費

○訓令第百三十七號 二十年二月十七日

郡役所 戶長役場

法律第壹號登記法實施ニ付船舶ノ賣買讓與ニ係ル鑑札書換下付ノ手續ハ左ノ條項ニ依リ
取扱ヘシ

○船舶ノ買賣讓與ニ依リ鑑札ノ書換下付ヲ乞フモノハ内登記法ニ據リ登記ヲ經タルモノ
 ○戸長ニ於テ其證ヲ認メ其旨ヲ記入シ郡役所ニ差出スヘシ
 ○二十年訓令第二百七十八號ヲ以本條改正但舊文ヲ
 零)

一郡役所ニ於テ前項ノ願書ヲ受タルキハ遲クモ三日以内ニ鑑本書換下付スヘシ

○訓令第四百十九號 二十年二月十八日 郡役所 戸長役場 浦役場

明治十八年乙第六十七號達ヲ廢止シ更ニ十七年乙第八十九號及丙第十四號達内國船難破
 及流失漂着物取扱手續中へ左ノ一條ヲ追加ス

第二十四條 漂流着木材ヲ取揚クル片ハ一々年内ハ其代價十分ノ一ニ過キサル取揚料
 ヲ遣シ一々年ヲ過クレハ規則第三十一條第二項ニヨリ處分スヘシ

○訓令第五百十號 二十年二月十八日 伊賀全國

郡役所 戸長役場

陸軍歸休兵並ニ豫備役後備軍艦員兵員ニシテ目下他ニ寄留シ官廳ニ奉職スル者及ヒ其他

ノ寄留者ニシテ陸軍省訓令甲第一號ニ據リ出願セント欲スル者ハ來ル三月盡日迄ニ郡駐
 在官縣駐在官ヲ經テ後備軍司令官ニ宛テ出願センメ郡長ハ其人名事由ヲ當廳へ報告スヘ

○訓令第五百五十五號 二十年二月廿一日 戸長役場

明治十九年(十月)内務省令第二十二號戸籍取扱手續ニ依リ發送スル送籍狀ニハ左ノ書類
 ヲ添付スヘシ

但明治十七年(五月)本縣乙第九十三號并ニ全年(九月)乙第二百九號達ヲ廢止ス

一全戸ノ送籍狀ニハ現在戸籍并ニ舊戸籍ノ全寫ヲ添付スヘシ

但シ戸籍全寫ハ從來加除ノ儘ヲ謄寫シ毫モ刪除改訂等ヲ加フヘカラス

一全戸送籍トハ別ノ送籍トヲ問ハズ國民兵(滿十七歳ヨリ滿二十歳マテ)及常備後備ノ兵
 籍ニアル者ハ一人毎ニ左ノ雛形ニ照準シ其取調書ヲ添付スヘシ

第何號送籍狀兵事ニ關スル取調書

何 某

一何年國民兵

一何年徵兵現役(補充)(豫備兵)(後備軍)艦員(兵員)近衛(海軍)(鎮臺)兵種番號
(歸休兵)(除隊)

一何年徵兵第一(二)豫備徵員

一何年徵兵徵兵令第何條何項相當(翌年廻シ)(猶豫)(除役)(先入兵)(入營延期)(
入營ニ際シ失踪)

一徵兵令第三十六條ニ當ルモノハ其事由

○訓令第五十六號 二十年二月廿一日

郡 役 所 戸長役場

明治十八年(二月)乙第七號達本縣統計書材料取調表式別紙之通改正ス

但戸長役場ニ於テハ前年分毎年一月二十日限リ取調郡役所ニ差出シ同所ニ於テハ同月
三十一日限リ縣廳ヘ到達ノ積リヲ以テ取纏メ差出スヘシ

(別紙)

統計書材料取調凡例

一各表式ノ上段郡(町村)名ノ欄ハ戸長役場及郡役所ノ製表ニ適用シ各其管轄内ノ町村名
又ハ郡名ヲ記入スルモノトス

但二郡ヲ管轄スル郡役所ト雖其事實ハ一郡毎トニ區別シテ之ヲ列記スヘシ

一各表記載ノ事實前年ノ總數ニ比シテ著シキ差違アルモノハ増減ノ理由ヲ其表尾ニ詳細
附記スヘシ

一會計年度調ニ係ル事實ハ其前年度中ノ分ヲ掲グルモノトス例ヘハ明治二十年(曆年調)
ノ調ハ同十九年度(會計年度調)ノ事實ヲ記スルカ如シ

一數字ノ句点ハ一位千位及百萬位ノ右側ニ「、」ヲ施シ其數量ノ名稱ヲ附記スヘシ

一表中登記スヘキ事實アラサル欄内ニ「―」ヲ填記シ其脱漏ニ非サルヲ證スヘシ

一右ノ外表式欄外ニ記シタル凡例ニ依リ取調ヘシ

第一 在留外國人ノ數

(十二月三十一日現在)

郡(町村)名		本國人名	男	女	計
		北米合衆國		人	
		英吉利			
		魯西亞			
		何々々			
合計					人
第二 本籍夫婦ノ數					
(十二月三十一日現在)					
郡(町村)名		夫	婦		
				偶	
合計					

第三 地稅ヲ納ムル人員

郡(町村)名		人員	員	人	
合計				人	
<p>一人員ハ稅納末期ノ現納人員ヲ記スヘシ</p> <p>一甲乙兩村ニ地所ヲ所有シ稅ヲ其兩村戶長役場ニ納ムル者ハ各一人ト算スヘシ</p>					
第四 縣會議員ノ投票					
郡名		撰舉權ヲ有スル者	撰舉權ヲ有スル者十人ニ對スル投票ノ數		
		人	人		
合計		人			

一 撰舉權ヲ有スル人員ハ撰舉會ヲ開キシ時ノ人員ナリ故ニ撰舉會ヲ開カサル年ハ本表ヲ欠クヘシ但一年ニ兩度以上其會ヲ開キタルハ各別ニ記入シ其月日ヲ肩書スヘシ

第五 町村會及議員

(十二月三十一日現在)

郡(町村)名	會	別	會數	議員		撰舉權ヲ有スル者
				定員	現員	
				人	人	人
合計						

一 會別トハ町村會、町村聯合會、水利土功會、學區會等ノ區別ヲ云フ會數ハ其設置數ニシテ開會ノ度數ニアラス

第六 私立諸學校費ノ收入及支出

校名	收入			支出		
	何々金	何々金	合計	何々費	何々費	合計
合計						

合計	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘

第七 里道ノ延長及新開修繕坪數并費金 (延長ハ十二月三十一日現在)

郡(町村)名	延長		新開		修繕	
	幅一間以上	幅一間未満	坪數	費金	坪數	費金
	里町間尺	里町間尺	坪	圓錢厘	坪	圓錢厘
合計						

一 費金ハ町村費、補助費、寄附金、私費、等ノ區分ヲ爲シ數字ノ肩ニ(町)(補)(寄)(私)等ノ字ヲ附シテ列記スヘシ以下各表之ニ倣フ

第八 里道ニ屬スル橋梁ノ個數坪數及新架々換并修繕 (現在個數同坪數ハ十二月三十一日現在)

郡(町村)名	現在個數	同坪數	新架及架換		修繕	
			個數	坪數	個數	坪數
合計						
<p>一私費ヲ以テ新架及架換修繕ヲ爲シタルモノアヲハ個數坪數トモ費金ノ例ニ準シ區分記入スヘシ次表堤防ノ築造修繕モ亦之ニ準ス</p> <p>第九 町村費主擔ニ係ル堤防ノ個所延長及築造并修繕(現在個所同延長ハ)十二月卅一日調</p>						
川名	現在個所	同延長	築造	延長	修繕	費金
	ヶ所	町間尺	個	ヶ所	町間尺	圓錢厘
合計						
<p>一支川又ハ派川ハ其幹川名ヲ肩書スヘシ</p>						

郡(町村)名	現在個數	同坪數	溜池		堰		溝		放水	
			個數	面積	個數	延長	個所	延長	個所	延長
合計										
<p>第十 溜池水路ノ現在及修繕個數并費金 (現在數ハ十二月卅一日調)</p>										
郡(町村)名	現在個數	同坪數	圓錢厘	ヶ所	町間尺	圓錢厘	ヶ所	町間尺	圓錢厘	ヶ所
合計										
<p>一町村費ヲ以テ其修繕ヲ負擔スルモノ、數ヲ掲クヘシ</p> <p>一溝渠及樋ハ地上ニ表ハル、ト地中ニ在ルトニ拘ハラヌ記入スヘシ</p> <p>第十一 上水ノ樹樋管其他及修繕ノ個所坪數并費金(水賦金納人員以上ハ)十二月卅一日現在</p>										
郡(町村)名	上水名	樹數	樋管	井	戸	水賦金	水賦金	修繕	同坪數	同費金
			延長			納人員		個所		

合計	個	間尺	個	人	圓錢厘	ヶ所	坪	圓錢厘

一 井戸ハ掘井ニアラス桑名市街ノ如キ水道中ニ設置アルモノヲ取調ヘシ

○訓令第六十四號 二十年二月廿三日

郡役所

明治十九年(一月)第四十四號達郡役所事務成績其他具申ノ義ハ自今左記ノ條項ニ據リ毎年兩度之ヲ取調ヘ前半年分ハ其年七月五日迄ノ後半年分ハ翌年一月五日迄ニ縣廳ヘ到達ノ日積リヲ以テ差出スヘシ

事務成績其他具申條項

一 事務ノ成績

通常并臨時事務緩急繁閑ノ實蹟及公同事務監督ノ頗末ヲ記載スヘシ

一 兵事ノ狀況

徵兵取調ニ付民心嚮背ノ情況兵役者ノ待遇方及行軍演習非常召集等ニ關スル要項ヲ記載スヘシ

一 諸稅徵收ノ狀況

國稅地方稅備荒儲蓄金及町村費徵收整理ノ狀況及不納者處分ノ順序并其人員金額等ヲ記載スヘシ

一 町村會ノ狀況

町村會町村聯合會水利土功會等ノ開閉ニ關スル狀況及其決議ノ要項ヲ記載スヘシ

一 人民生計ノ狀況

民業ノ勤惰與廢金融ノ通塞金穀ノ貯蓄等ニ就テ實際生計ノ現狀ヲ記載スヘシ

一 農工商ノ狀況

農事ハ作物ノ豐凶試驗ノ方法結果工業ハ諸般製作製造ノ改良盛衰等商業ハ物產輸出入ノ實況物貨ノ昂低諸會社ノ興替等ヲ區分記載スヘシ

一 土木工事ノ狀況

土木工事ノ狀況

河港道路堤防橋梁溜池等ノ工事計畫落成ノ實況及其費額并金員ノ種別等ヲ記載スヘシ

一 學事及衛生ノ狀況

學事ハ總テ獎勵并施設ノ顛末及現時ノ實況衛生ハ一般注意改良ノ要件及傳染病豫防ノ順序結果等ヲ記載スヘシ

一 災害ノ狀況

水火風震等ニ由リ損害ヲ被リタル狀況ヲ記載スヘシ

一 宗教ノ狀況

神佛外教等信仰盛衰ノ實況ヲ記載スヘシ

一 右各項ノ外郡治上樞要ノ事項ハ便宜部類ヲ分チ記載スヘシ

一 凡記載方ハ行文中實際ノ事情ヲ盡シ繁簡當ヲ得テ其事蹟ヲ明徴スルニ足ルヲ要ス

一 事蹟ノ物數ニ係ル者ハ之ヲ表記シテ前期ノ比較ヲ掲クヘシ但比較上著シク増減アルモ

ノハ必其事由ヲ記スヘシ

一 繼續ノ事業ニシテ完結ニ至ラサルモノハ着手以來ノ順序及現時ノ實況ヲ記スヘシ

一 將來擴充改正スヘキ意見若クハ其順備アルモノハ各項ノ次ニ區分附記スヘシ

○訓令第六十八號 二十年二月廿四日 郡役所 戶長役場

地方稅徵收取扱順序別冊之通相定明治二十年度ヨリ施行ス

但明治十八年(五月)乙第五十二號達地方稅收納順序及同年(四月)乙第五十一號達地方稅徵收取扱手續并明治十九年(四月)乙第五十一號達地方稅金誤納還付及更正手續ハ同年度ヨリ廢止ス

(別冊中ノ書式ハ別ニ郡役所ニ送付ス)

(別冊) 地方稅徵收取扱順序

第一章 徵收

第一條 地方稅ヲ徵收スル爲メ郡長ヨリ戶長ニ對シ徵收書ヲ發スル片ハ總テ徵稅臺帳ニ

據リ之ヲ整理シ而シテ該臺帳ト割印ヲナシ戸長ニ送付スヘシ

第二條 徴收書ハ其年税ニ係ルモノハ納期十五日以前ニ月税ニ係ルモノハ納期十日以前ニ其隨時(市場税モ之レニ包含ス)ニ徴收スルモノハ其都度ニ之ヲ發スヘシ

第三條 郡長ハ徴收書發付ノ後納期以前ニ於テ金額ニ増減ヲ生スル片ハ其増額ノ分ハ更ニ徴收書ヲ發シ減額ニ係ル分ハ戸長ニ通報スヘシ

但本文ノ場合ニ於テ更ニ徴收書ヲ製シ最前ノ分ト交換スルハ郡役所ノ便宜ニ從フ

第四條 戸長ハ郡長ヨリ徴收書ヲ以テ町村ノ税金取纏メヲ命セラレタル片ハ町村一人別納額元帳ニ據リ徴收配符ヲ製シ元帳ト割印シテ之ヲ納税者ニ配符シ納税者ヲシテ税金ニ配符ヲ添ヘ戸長役場ニ納付セシムヘシ

第五條 戸長ハ各納税者ヨリ税金ヲ領收スル片ハ配符ニ接続シタル領收証用紙ニ税金領收ノ証ヲ記入シ其接続ノ所へ割印シテ之ヲ切斷シ配符ヲ役場ニ留メ領收書ヲ納税者ニ交付スヘシ

第六條 戸長ハ其取纏メタル税金ヲ地方税金取扱所ニ納付スル片ハ郡長ヨリ受ケタル徴收書ニ接続シタル上納証用紙ニ上納ノ証ヲ記入シ徴收書ト共ニ税金ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第七條 地方税金取扱所ハ戸長ヨリ税金ヲ領收スル片ハ徴收書ニ領收ノ証ヲ記入シ徴收書ト上納書ト接続ノ處へ割印シテ之ヲ切斷シ上納書ハ之ヲ留メ徴收書ハ之ヲ戸長ニ還付ス

第八條 地方税金取扱所ハ前條ノ手續ヲ爲シタル後正副上納書ニ納濟ノ記入ヲナシ正書ニハ納濟月日ノ傍ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ正副書接続ノ處へ割印シテ之ヲ切斷シ正書ニ據リテ帳簿ニ記入シ副書ハ即日其徴收書ヲ發シタル郡役所へ送付ス

第九條 郡役所ハ地方税金取扱所ヨリ上納副書ヲ送付セラレタル片ハ之ヲ徴税臺帳ニ照合シ該臺帳へ納濟ノ記入ヲナスヘシ

第十條 戸長ハ納期以前ニ於テ其取纏メタル税金未タ徴收書ノ金額ニ滿タスシテ内納ヲナ

サントスル片ハ分納書ヲ製シ現金ニ徴収書(此時徴収書ニ接續シタル上納証用紙ハ白文ノ儘)ヲ添ヘ之ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第十一條 前條内納ノ場合ニハ徴収書ニ記載シタル金額ニ滿ルマテハ前條ノ手續ニヨリ最后完納ノ時ニ至レハ分納書ヲ用ヒス徴収書ニ接續シタル上納証用紙ニ現金上納ノ証ヲ記入シ徴収書ト共ニ之ヲ現金ニ添ヘ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第十二條 地方税金取扱所ハ戸長ヨリ税金ノ内納ヲナス爲メニ分納書ヲ添ヘテ現金ヲ納付スル片ハ徴収書ノ裏面ニ内納ノ金額領取ノ証ヲ記入シ之ヲ戸長ニ還付ス

第十三條 地方税金取扱所ハ前條ノ手續ヲナシタル後分納書ニ納済ノ記入ヲナシ正副接續ノ處ニ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ即日其徴収書ヲ發シタル郡役所ヘ送付シ正書ニ據リテ帳簿ニ記入ス

第十四條 地方税金取扱所ハ戸長ヨリ税金ノ内納ヲナシタル末完納ニ至ル片ハ徴収書ノ裏面ニ記載シタル領收済ノ金額ヲ合計シテ之ヲ表面ニ移記シ其次行ニ最后領收ノ金額

年月日ヲ記入シ捺印ノ上納書ト接續ノ處ヘ割印シ之ヲ切斷シ該徴収書ハ之ヲ戸長ニ還付ス

第十五條 戸長ハ納期ニ至テ事故アリ徴収書ノ金額ヲ完納スル能ハサル片ハ分納書ヲ製シ徴収書ト共ニ現金ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

但彙ニ税金ヲ内納シタル片ハ直ニ後條ノ手續ヲナスヘシ

第十六條 前條ノ場合ニ於テハ徴収書ニ接續シタル上納証用紙ノ上納文ヲ朱書ヲ以テ改記シ不納(減額)報告書トナシ之レニ不納(減額)金額及年月日ヲ記入シ記名捺印シテ同時ニ之ヲ地方税金取扱所ニ送付スヘシ

但不納ト減額ト併セテ生スル片ハ上納証用紙ノ上納文ヲ改記シテ不納及減額報告書トナシ其金額ハ區別シテ記入スヘシ

第十七條 地方税金取扱所ハ第十五條ニ據リ戸長ヨリ税金ノ上納ヲナシタル片ハ徴収書ニ上納ノ金額ヲ記載(彙ニ内納シタルモノハ徴収書ノ裏面ニ記載シタル領收済ノ金額ヲ其表面ニ移記ス)シ其次行ニ朱書ヲ以テ不納(減額)金額ヲ記入シ年月日ヲ記シ捺印

ノ不納(減額)報告書ト接続シテ之ヲ切斷シ該徵收書ハ之ヲ戸長ニ還付ス
但前條但書ノ場合ニ於テハ不納及減額ノ金額ヲ并列記載ス

第十八條 地方税金取扱所ハ前條ノ手續ヲ爲シタル後分納書ニ納済ノ記入ヲ爲シ正副接
續ノ所へ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ即日其徵收書ヲ發シタル郡役所へ送付シ正書ニ據
リテ帳簿ニ記入ス此場合ニ於テハ不納(減額)報告書ハ正副接続ノ處へ割印シテ之ヲ切
斷シ副書ハ同時ニ之ヲ該郡役所へ送附ス

第十九條 戸長ハ税金ノ不納ニ因リ不納報告ヲ爲シタル後不納處分中戸長ニ於テ税金ノ
上納ヲ取扱フコアルキハ分納書ヲ以テ彙ニ地方税金取扱所ヨリ返附セラレタル徵收書
ト共ニ税金ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第二十條 地方税金取扱所ハ前條ノ税金ヲ戸長ヨリ納付シ來ルキハ領收証箋ヲ製シ領收
金額年月日ヲ記入捺印シテ徵收書ノ下端ニ貼付シ契印ヲ捺シテ之ヲ戸長ニ還付ス
但本文ノ手續ヲ終ル後分納書取扱ノ手續ハ第十八條前段ニ同シ

第二十一條 公賣處分ヲ以テ收入スル税金ハ現金ヲ郡役所ニ收納シ其領收證書ヲ製シテ
所分濟徵收ノ達書ト共ニ之ヲ戸長ニ交付シ納稅者ニ傳ヘシムヘシ

第二十二條 前條ニ據リ郡役所ニ現金ヲ收納スルキハ其日ノ分ヲ翌日迄ニ現金ニ納付書
ヲ添ヘ其取扱主任官ヨリ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第二十三條 郡役所ニ於テ現金ヲ收納スル場合ニ於テハ即時ニ徵稅臺帳ニ領收済ノ記入
ヲ爲スヘシ

第二十四條 地方税金取扱所ハ郡役所ヨリ現金ノ納付ヲ受クルキハ納付証ノ正書ニハ領
收ノ證ヲ記入シ副書ニハ納済ノ證ヲ記入シ正副書接続ノ處へ割印シテ之ヲ切斷シ正書
ハ之ヲ郡役所ニ還付シ副書ハ取扱主任者ノ印ヲ捺シ之レニ據リテ帳簿ニ記入ス

第二十五條 成規ニ據リ其都度徵收スル税金又ハ納期豫定ノ税金ニシテ納稅者ノ望ニ據
リ徵收書ノ發付ニ先チ税金ヲ納ムル場合ニ於テハ戸長ハ其預リ証書ヲ納稅者ニ交付シ
郡長ニ報告シテ徵收書ノ發付ヲ請求スヘシ

第二十六條 前條ノ場合ニ於テ戸長ハ徵收書ヲ受ケタル片ハ其徵收配符ヲ發セス直ニ納稅者ニ領收証書ヲ發シテ預リ証書ト交換スヘシ

第二十七條 戸長ニ於テ既納税金下戻ヲ要スルト見認ムル片ハ事由ヲ具シテ之レヲ郡長ニ請求スヘシ

第二十八條 郡長ハ既納税金ノ下戻ヲ要スル片ハ別紙第五號書式ニ據リ既納金下戻請求書ヲ製シ其下戻ヲ請求スヘシ此場合ニ於テハ第三十五條ノ徵收濟報告表差出濟ノ後之ヲ請求スヘシ

但至急ニ下戻ヲ要スルモノハ彙ニ納入シタル科目金額ヲ掲ケ其請求書ト共ニ臨時徵收濟報告書ヲ差出スヘシ

第二十九條 郡長ハ縣廳ヨリ既納金ヲ交付セラレタル片ハ其領收證ヲ縣廳ヘ發送シ之ヲ戸長ニ交付シ其領收書ヲ徵スヘシ

第三十條 戸長ハ郡長ヨリ前條ノ金員ヲ交付セラレタル片ハ之ヲ納人ニ配付スヘシ

第三十一條 郡長ハ税金徵收ノ後徵收不足ヲ發見スル片ハ更ニ徵收書ヲ製シ其理由ヲ裏面ニ記載シテ之ヲ發ス可シ

第三十二條 郡長ハ地方税金取扱所ヨリ上納副書分納副書若クハ領收ヲ証シタル納付書ヲ受ケタル片年度又ハ科目ノ誤記ヲ發見スル片ハ即時該所ニ照會シテ之レカ訂正ヲ請求スヘシ

第二章 報告

第三十三條 郡長ハ第二條ニ據リ徵收書ヲ發シタル片ハ別紙第一號書式ニ據リ課稅額報告書ヲ製シ納期ヲ豫定シタルモノハ徵收書發付ノ後五日以内ニ隨時收入ハ毎月分ヲ取纏メ翌月五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第三十四條 郡長ハ前條報告濟ノ後課稅額ニ増減ヲ生スルトキハ第二號書式ニ據リ其時々之ヲ報告スヘシ

第三十五條 郡長ハ毎月徵收濟ノ金額ヲ一ヶ月毎ニ取調第三號書式ニ據リ徵收濟報告表

ヲ製シ翌月五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第三十六條 郡長ハ不納處分ニ因リ損失ニ係ル金額及事故アリ納期後三十日以内ニ處分完結セサルモノアル片ハ第四號書式ニ據リ其報告書ヲ製シ納期後三十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ

但報告後徴收センモノハ其時々之ヲ報告スヘシ

第三十七條 郡長ハ第六號書式ニ據リ地方稅收入精算表ヲ製シ毎年度分ヲ其出納閉鎖後十日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第三十八條 郡長ハ毎年度地方稅ヲ免除シタル人員ヲ取調第七號書式ニ據リ地方稅免除人員報告表ヲ製シ地方稅收入精算表ト同時ニ之ヲ報告スヘシ

第三十九條 郡長ハ毎年度地方稅不納者財産公賣處分決行センモノヲ取調第八號書式ニ據リ地方稅不納公賣處分濟報告表ヲ製シ地方稅收入精算表ト同時ニ之ヲ報告スヘシ

第四十條 戶長ハ其町村ノ戶數割ヲ賦課セラレタル戶數ヲ取調每納期二十日前ニ於テ現

在戶數ヲ郡長ニ報告スヘシ且聯合町村會ノ評決ニ係ルモノニシテ每町村ノ納稅額ニ増減ヲ生スル片ハ其納稅額ヲ併セテ報告スヘシ

但報告ノ後納期迄ニ戶數ニ増減ヲ生スル片ハ其時々追報スヘシ

第三章 雜件

第四十一條 此順序ニ據タル徴收書徴収配符納付書分納書ハ内國稅ヲ徴收スルニ用フル徴稅令書徴稅傳令書納付書分納書ノ樣式ヲ適用スヘシ

第四十二條 地方稅徴收ニ關スル郡役所戶長役場ノ帳簿式ハ内國稅徴收ニ關スル帳簿式ヲ適用スヘシ

○訓令第七十四號 二十年二月二十六日

郡役所

陸軍歸休兵并ニ豫備役後備軍艦員兵員臨時召集旅費金支出スヘキ金庫區域別紙之通定ヲル

(別紙) 陸軍諸兵臨時召集旅費支出金庫區域一覽表

郡名	金庫名	銀行名
桑名	桑名現金支拂所	安田銀行
員辨	津國庫金取扱所	
員辨	楚原出張場	三井銀行
三重朝明	四日市現金支拂所	同
鈴鹿	同 龜山出張場	同
奄藝河曲	同 白子出張場	同
安濃	津現金支拂所	同
一志	同 久居出張場	同
飯高飯野	同 松坂出張場	同
多氣	山田國庫金取扱所	同
多氣	相可出張場	同
		第五百五國立銀行

度會	山田現金支拂所	同
荅志英虞	同 鳥羽出張場	同
北牟	同 尾鷲出張場	同
南牟	同 木本出張場	同
阿拜山田	上野現金支拂所	同
	上野國庫金取扱所	同
名張伊賀	名張出張場	同
○訓令第七十五號	二十年二月二十六日	郡役所 戸長役場
今般		

皇太后宮管内 通御ノ節左ノ條項部内人民ニ諭示取計フヘシ

一營業平日ノ通タルヘシ

一諸車牛馬等ヲ路傍ニ繫留シ又ハ諸店ヲ張リ出シ其他都テ 通御ニ障碍無之様厚ク注意

スヘシ

一火ノ元一層注意スヘシ

一拜觀人民御列ヲ見受クル時ハ敬禮ヲ爲シ御列ヲ横斷スヘカラス

一御列外供奉員ノ通行及御用物運搬等支障無之様致スヘシ

○訓令第七十九號 二十年三月一日

郡役所

明治十八年(六月)乙第七十四號達表式ニ據リ左ノ諸稅收納景況一覽表ヲ製シ每納期後四
十日以内收稅長へ差出スヘシ

菓子稅	小賣營業稅	卸賣營業稅	製造營業稅	醬油稅	造石稅	酒造稅	釀造酒稅	蒸溜酒稅	再製酒稅	營業稅	酒造稅
前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
后	后	后	后	后	后	后	后	后	后	后	后
半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分

煙草稅	製造營業稅	卸賣營業稅	小賣營業稅	賣藥稅	營業稅	船稅	遊船稅	馬車稅	人力車稅	牛車稅	荷車稅
前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前	前
后	后	后	后	后	后	后	后	后	后	后	后
半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分	半年分

牛馬賣買免許稅

前 半年分

郡役所

○訓令第二百三號 二十年三月三日

本縣小學校授業生試驗手数料免許狀手数料并該免許狀書換手数料ハ第二部歳入へ納付ス
ヘシ

但本年一月本縣訓令第五十號ハ廢止ス

○訓令第二百十三號 二十年三月四日

郡役所 戶長役場

備荒公儲金徵收順序別冊之通相定メ明治二十年度ヨリ施行ス

但明治十八年(五月)乙第六十三號達備荒公儲金及貸與金收納順序ハ同年度ヨリ廢止ス

(別冊) 備荒公儲金徵收順序

第一章 徵收

- 第一條 公儲金ヲ徵收スル片ハ知事ノ命令ニ據リ郡長ヨリ戶長ニ對シ徵收書ヲ發スヘシ
- 第二條 郡長ハ徵收書ヲ發スル片ハ徵收臺帳ニ據リ納期十五日以前ニ徵收書ヲ製シ臺帳ト割印シテ之ヲ戶長ニ交付スヘシ
- 第三條 郡長ハ徵收書發付ノ後納期以前ニ於テ金額ニ増減ヲ生スル片ハ其増額ノ分ハ更ニ徵收書ヲ發シ減額ニ係ル分ハ戶長ニ通報スヘシ但本文ノ場合ニ於テ更ニ徵收書ヲ製シテ最前ノ分ト交換スルハ郡役所ノ便宜ニ從フ

第四條 戶長ハ郡長ヨリ徵收書ヲ以テ町村ノ公儲金取纏メヲ命セラレタル片ハ町村一人別納額元帳ニ據リ徵收配符ヲ製シ元帳ト割印シテ納期五日以前ニ之ヲ納人ニ配符シ納人ヲシテ現金ニ配符ヲ添ヘ戶長役場ニ納付セシムヘシ

第五條 戶長ハ各納人ヨリ公儲金ヲ領收スル片ハ配符ニ接續シタル領收証用紙ニ現金領收ノ証ヲ記入シ其接續ノ處へ割印シテ之ヲ切斷シ配符ヲ役場ニ留メ領收書ヲ納人ニ交付スヘシ

第六條 戶長ハ其取纏メタル公儲金ヲ地方税金取扱所ニ納付スル片ハ郡長ヨリ受ケタル徵收書ニ接續シタル上納証用紙ニ上納ノ証ヲ記入シ徵收書ト共ニ現金ヲ地方税金取扱所ニ徵付スヘシ

第七條 地方税金取扱所ハ戶長ヨリ公儲金ヲ領收スル片ハ徵收書ニ領收ノ証ヲ記入シ徵收書ト上納書ト接續ノ處へ割印シテ之ヲ切斷シ上納書ニ之ヲ留メ徵收書ハ戶長ニ還付ス

第八條 地方税金取扱所ハ前條ノ手續ヲナシタル後正副上納書ニ納済ノ記入ヲナシ正書ニハ納済月日ノ傍ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ正副書接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ正書ニ據リテ帳簿ニ記入シ副書ハ即日其徵收書ヲ發シタル郡役所ヘ送付ス

第九條 郡役所ハ地方税金取扱所ヨリ上納副書ヲ送付セラレタル片ハ之ヲ徵收臺帳ニ照合シ該臺帳ニ納済ノ記入ヲナスヘシ

第十條 戸長ハ納期ニ至テ事故アリ徵收書ノ金額ヲ完納スル能ハサル片ハ分納書ヲ製シ徵收書ト共ニ現金ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ徵收書ニ接續シタル上納証用紙ノ上納文ヲ朱書ヲ以テ改記シ不納(減額)報告書トナシ之ニ不納(減額)金額年月日ヲ記入シ記名捺印シテ同時ニ之ヲ地方税金取扱所ニ送付スヘシ但不納ト減額ト併セテ生スル片ハ上納証用紙ノ上納文ヲ改記シテ不納及ヒ減額報告書トナシ其金額ハ區別シテ記入スヘシ

第十二條 地方税金取扱所ハ前條戸長ヨリ公儲金ノ上納ヲナシタル片ハ徵收書ニ上納ノ

金額ヲ記載シ其次行ニ朱書ヲ以テ不納(減額)金額ヲ記入シ年月日ヲ記シ捺印シテ不納(減額)報告書ト接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ該徵收書ハ之ヲ戸長ニ還付ス但前條但書ノ場合ニ於テハ不納及減額ノ金額ヲ并列記載ス

第十三條 地方税金取扱所ハ前條ノ手續ヲナシタル後分納書ニ納済ノ記入ヲナシ正副接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ即日其徵收書ヲ發シタル郡役所ヘ送付シ正書ニ據リテ帳簿ニ記入ス此場合ニ於テハ不納(減額)報告書ハ正副接續ノ處ヘ割印シテ之ヲ切斷シ副書ハ同時ニ之ヲ該郡役所ヘ送付ス

第十四條 戸長ハ不納報告ヲナシタル後不納處分中戸長ニ於テ公儲金ノ上納ヲ取扱フコトアル片ハ分納書ヲ以テ發シ地方税金取扱所ヨリ返付セラレタル徵收書ト共ニ現金ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第十五條 地方税金取扱所ハ前條ノ公儲金ヲ戸長ヨリ納付シ來ル片ハ領收証箋ヲ製シ領收金額年月日ヲ記入シ捺印シテ徵收書ノ下端ニ貼付シ契印ヲ捺シテ之ヲ戸長ニ還付ス

但本文ノ手續ヲ終ル後分納書取扱ノ手續ハ第十三條前段ニ同シ

第十六條 公賣處分ヲ以テ收入スル公儲金ハ之ヲ郡役所ニ收納シ別ニ其領收証書ヲ製シ處分濟徴收ノ達書ト共ニ之ヲ戸長ニ交付シテ納人ニ傳ヘシムヘシ

第十七條 前條ニ據リ郡役所ニ現金ヲ收納スルキハ其日ノ分ノ翌日迄ニ現金ニ納付証ヲ添ヘ取扱主任官ヨリ之ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第十八條 郡役所ニ於テ現金ヲ收納スル場合ニ於テハ即時ニ徴收臺帳ニ領收濟ノ記入ヲナスヘシ

第十九條 地方税金取扱所ハ郡役所ヨリ現金ノ納付ヲ受クルキハ納付書ノ正書ニ領收ノ証ヲ記入シ副書ニハ納濟ノ証ヲ記入シ正副書接續ノ處へ捺印シテ之ヲ切斷シ正書ハ之ヲ郡役所へ還付シ副書ニハ取扱主任者ノ印ヲ捺シ之レニ據リテ帳簿ニ記入ス

第二十條 成規又ハ納人ノ望ニ據リ徴收書發付以前公儲金ヲ戸長役場ニ預ケ入ル、片ハ戸長ハ其預リ証書ヲ納人ニ交付シ後日徴收書ヲ受ケタルキハ其徴收配符ヲ發セス直ニ

納人ニ領收証書ヲ發シテ預リ証書ト交換シ而シテ現金ハ納期ニ從ヒ之ヲ地方税金取扱所ニ納付ノ手續ヲナスヘシ但成規上郡役所ニ預ケ入ル、ノ場合ニ於テハ郡役所ハ其領收証ヲ發シ現金ハ納期ニ從ヒ納付書ヲ以テ現金取扱主任官ヨリ之ヲ地方税金取扱所ニ納付スヘシ

第二十一條 公儲金ハ總テ現金ヲ地方税金取扱所ニ納付スルヲ以テ上納ヲ終リタルモノトス

第二十二條 戸長ニ於テ公儲金ノ過納誤納ニ因リ既納金ノ下戻ヲ要スルト見認ムル時ハ事由ヲ具シ之ヲ郡長ニ請求スヘシ

第二十三條 郡長ハ既納金ノ下戻ヲ要スル時ハ別紙第五號書式ニ據リ既納金下戻請求書ヲ製シ其下戻ヲ請求スヘシ此場合ニ於テハ第二十九條ノ徴收濟報告ノ後之ヲ請求スヘシ

第二十四條 郡長ハ縣廳ヨリ既納金ヲ交付セラレタルトキハ其領收書ヲ縣廳へ發送シ之

ヲ戸長ニ交付シ其領収書ヲ徴スヘシ

第二十五條 戸長ハ郡長ヨリ前條ノ金員ヲ交付セラレタルトキハ之ヲ納人ニ配付スヘシ

第二十六條 郡長ハ公儲金徴收ノ後徴收不足ヲ發見スルトキハ更ニ徴収書ヲ製シ其理由ヲ裏面ニ記載シテ之ヲ發スヘシ

第二十七條 郡長ハ地方税金取扱所ヨリ上納副書分納副書若クハ領收ヲ証シタル納付書ヲ受クル片年度又ハ科目ノ誤記ヲ發見スル片ハ即時該所ニ照會シテ之レカ訂正ヲ請求スヘシ

第二章 報告

第二十八條 郡長ハ第二條ニ據リ徴収書ヲ發シタル片ハ別紙第一號書式ニ據リ納額報告書ヲ製シ徴収書發付ノ後五日以内ニ之ヲ報告スヘシ但報告ノ後納額ニ増減ヲ生スルトキハ其時々之ヲ追報スヘシ

第二十九條 郡長ハ納期ニ際シ徴収シタル金額ヲ取調第二號書式ニ據リ徴收濟報告書ヲ

製シ納期後十日以内ニ之ヲ報告スヘシ

第三十條 郡長ハ不納處分ニ因リ損失ニ係ル金額及事故アリ納期後三十日以内ニ處分完結セサルモノアル時ハ第三號書式ニ據リ其報告書ヲ製シ納期後三十五日以内ニ之ヲ報告スヘシ但報告後徴收セシモノアル時ハ其時ニ之ヲ報告シ同時ニ前條ノ徴收濟報告書ヲ差出スヘシ

第三十一條 郡長ハ第四號書式ニ據リ毎年度公儲金皆濟報告書ヲ製シ翌年度五月卅一日限之ヲ報告スヘシ

第三十二條 郡長ハ毎年度公儲金不納者財産公賣處分決行セシ者ヲ取調第六號書式ニ據リ公賣處分濟報告表ヲ製シ公儲金皆濟報告書ト同時ニ之ヲ報告スヘシ

第三十三條 郡長ハ第七號書式ニ據リ公儲金免除人員報告表ヲ製シ公儲金皆濟報告書ト同時ニ之ヲ報告スヘシ

第三章 雜件

第三十四條 此順序ニ掲クル徵收書徵收配符納付書分納書ハ内國稅ヲ徵收スルニ用ユル
徵稅令書徵稅傳令書納付書分納書ノ様式ヲ適用スヘシ

第三十五條 公儲金徵收ニ關スル郡役所戶長役場ノ帳簿式ハ内國稅徵收ニ關スル帳簿式
ヲ適用スヘシ

第一號書式 (用紙ハ半紙ヲ用ユ以下同シ)

明治何年度公儲金納額報告書

現地租金何程

一金何程

内 (二郡以上アル郡役所ニ限リ
此内譯ヲナス)

現地租金何程

金何程

何郡納額

現地租金何程

金何程

何郡納額

右報告候也

年月日

郡長氏名印

知事宛

第二號書式

明治何年度公儲金徵收濟報告書

一金何程

内 (二郡以上アル郡役所ニ限リ
此内譯ヲナス)

金何程

何郡徵收額

金何程

何郡徵收額

右報告候也

年月日

郡長氏名印

知事宛

明治二十年三月 訓令

五百九十六

第三號書式 明治何年度公儲金損失(勘定除却)報告書

(損失ト勘定除却トハ各別ニ報告スヘシ)

一金 何 程 何 郡

是ハ何々ノ事故ニテ成規ノ通處分セシニ其代價不納額ニ充タヌ又ハ買受望人ナク或ハ公賣代價不相當ニ付該地所官没ニテ損失可相成分

一金 何 程 何 郡

是ハ何々ノ事故ニテ成規ノ通處分セシニ買受望人ナク或ハ公賣代價不相當ニ付地所ノ官没ヲ見合ニ付一旦勘定除却可相成分

右報告候也

年 月 日 郡長 氏名 印

知 事 宛

第四號書式 明治何年度公儲金皆濟報告書

地租精算高何程

一金 何 程 何郡(何ヶ町何ヶ村)

外 金 何 程 損 失 何 人

内 (二郡以上アル郡役所ニ限リ)
(此内譯ヲナス)

地租精算高何程

金 何 程 何郡(何ヶ町何ヶ村)

外 金 何 程 損 失 何 人

地租精算高何程

金 何 程 何郡(何ヶ町何ヶ村)

右ハ(何郡何村)明治何年度皆濟書面ノ通候也

年 月 日 郡長 氏名 印

知 事 宛

明治二十年三月 訓令

五百九十七

明治二十年三月 訓令

五百九十八

第五號書式 明治何年度公儲金下戻請求書

一金 何程

但何年何月何日徴收濟報告高金何程ノ内何々(事由ヲ明記ス)ニヨリ本行ノ通過(誤)納相成候分

右過(誤)納ニ付御下戻有之度候也

年月日

郡長氏名印

知事宛

第六號書式 明治何年度公儲金不納公賣處分後報告表

科 目	不納額	公賣代金	官沒反別	損失金額	不納人員
	公儲金	剩餘還付金	何郡		

(二郡以上アル郡役所ハ本表科目トアルヲ郡名トナシ每郡ニ區別シテ記載シ之レカ合

計ヲナスヘシ)

右報告候也

年月日

郡長氏名印

知事宛

第七號書式 明治何年度公儲金免除人員報告表

科 目	免除種類	免除金額	人員
	荒地免除		
公 儲 金	地租ノ補助ヲ受ケ免除		
	地租ノ貸與ヲ受ケ免除		
計			

(二郡以上アル郡役所ハ本表科目トアルヲ郡名トナシ每郡ニ區別シテ記載シ之レカ合計

明治二十年三月 訓令

五百九十九

明治二十年三月 訓令

六百

ヲナメヘシ

右報告候也

年 月 日

郡長氏名印

知事宛

○訓令第二百十八號 二十年三月五日

郡役所

明治十七年(六月)乙第三百三十八號達地券書換報告書ノ儀本年二月分ヨリ別紙雛形ノ通改

正候條每翌月五日限收稅長へ報告スヘシ

但本年二月分ハ三月十五日限リ差出スヘシ

備考

住所換等更正ニ止マルモノ餘白ナクシテ書換ヲ爲シタルトキ又ハ件名ヲ掲クル種目

ニ組入難キモノアルトキハ分合筆云々ノ項ニ算入スヘシ

明治何年 地券下附書換報告表

何 郡

件名	枚數
賣買	
代換及讓與等	
荒地免租年期明	
開墾畝下年期明	
地目變換	
免租地ノ有租地成 有租地ノ免租地成	
荒地免租	
開墾	
水火盜難	
分合筆其他反別地 價地租ニ異動ヲ生 セシモノノ類	

明治二十年三月 訓令

六百一

所有者姓名ノ變更

合 計

右之通候也

年 月 日

收 税 長 宛

何 郡 長 氏 名 印

○訓令第二百四十五號 二十年三月十二日

郡 役 所 戸 長 役 場

國税ニ係ル營業者税金不納ノ儘失踪セシモノ等別紙之通北海道廳及廣島縣廳ヨリ通報越候條轉籍若クハ寄留再營業願出ルカ又ハ失踪者所在發顯シタル節ハ不納税金徴收シ其旨收税長へ申越スヘシ (別紙零ス)

○訓令第二百七十七號 二十年三月十八日

郡 役 所 戸 長 役 場

明治十八年(八月)縣乙第三百三十一號達徴兵事務取扱手續中左ノ通改正ス

第十八條中「四月十一日」トアルヲ「十一月二十一日」ニ「九月十五日」トアルヲ「翌年四月十五日」ト改ム

第二十八條中「八月」トアルヲ「三月」ト改ム

第二十九條中「八月」トアルヲ「三月」ト改ム

○訓令第二百七十八號 二十年三月十八日

郡 役 所 戸 長 役 場

本年(二月)訓令第三百三十七號第一項改正(改訂)

○訓令第二百九十四號 二十年三月廿二日

郡 役 所 戸 長 役 場

戸長以下給料旅費支給法左ノ通改正明治二十年度分ヨリ施行ス

戸長以下給料旅費支給法

第一條 戸長以下給料旅費ハ概算ヲ以テ縣廳ヨリ郡役所へ下渡シ郡役所ニ於テハ第三條

第四條第五條第八條第九條ニ依リ戸長役場へ交付スヘシ

第二條 戸長受持部内ノ現戸數ト耕宅地反別假戸數ト山林原野反別假戸數トノ三個ヲ各別

ニ算定シ之ヲ合計シ合戸數トシ而シテ戸長給料其他ノ標準トス其算則ハ左ノ三款ニ依ル

第一款 戸長反別ハ郡役所ニ於テ其年一月一日ノ現戸數反別ニ據リ之ヲ計算スヘシ

第二款 耕宅地ハ町未滿ノ反別ハ切捨テ貳町歩ヲ壹戸ニ折算シ其端數ハ壹戸ニ算入ス
第三款 山林原野仮戸數ハ別表ニヨリ之ヲ定メ町未滿ノ反別ハ總テ切捨トス

第三條 戸長給料ハ第二條ノ合戸數ニ依リ左表ノ通支給ス但時宜ニヨリ戸數ノ多寡ニ拘
ハラス事務ノ繁閑等ニ依リ適宜支給スルコトアル可シ

合戸數	二千五百	二千	一千五百	一千二百	一千	八百	六百	四百	四百
戸以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	以上	未滿
月給	拾五圓	拾四圓	拾三圓	拾貳圓	拾壹圓	拾圓	九圓	八圓	七圓

第四條 甲戸長ニシテ乙戸長ヲ兼任スルトキハ甲乙合戸數ヲ併算シ第三條ノ例ニ依リ本
務ノ役場ニ於テ之ヲ支給ス

第五條 筆生給料ハ第二條ノ合戸數ニ依リ二百戸以下ノ役場ハ一ヶ月金四圓トシ二百壹
戸以上千戸迄ハ壹戸ヲ増ス毎ニ金壹錢六厘又千壹戸以上ハ全シク金壹錢貳厘ノ割(仮
令ハ千五百戸ナレハ内貳百戸ヲ以テ四圓トシ殘數ノ内八百戸へ金壹錢六厘尙剩ル五百
戸へ金壹錢貳厘ヲ乘シ以テ金貳拾貳圓八拾錢トナルカ如シ尤モ端數ハ四拾五入ノ法ニ

ヨリ拾錢位ニ止ム)ヲ以テ配當ス但郡長ニ於テ事務ノ繁閑ヲ斟酌シ其給料ノ金額ヲ増
減配當スルコトヲ得

第六條 筆生給料ハ三圓以上六圓以下トシ郡長ハ其範圍内ニ於テ適宜支給ノ金額ヲ定ム
ヘシ但地方ノ情況ニヨリ本文給料ノ範圍ニ據リ難ク三圓他下ヲ以テ筆生ヲ雇入ントス
ル片ハ戸長ヨリ其金額及事情ヲ具シ郡長ノ指揮ヲ請フヘシ

第七條 戸長一時賜金ハ其要スル都度縣廳ヨリ之ヲ下付ス

第八條 戸長以下旅費ハ之ヲ折半シ其一半ヲ郡内合戸數ニ依リ其一半ヲ前々年度以前三
ヶ年ノ實費ニ依リ之ヲ割當郡役所ニ下付シ郡役所ニ於テハ尙之ニ里程ノ遠近ヲ斟酌シ
毎役場ニ交付スヘシ

第九條 賄費ハ毎戸長役場平均割ヲ以テ配當ス

第十條 戸長筆生任免ノ節當月分ノ給料ハ任免者ハ職務ニ就キタル當日ヨリ免職者ハ命
令ヲ受ケタル前日迄其月ノ現日數ニ依リ日割ヲ以テ支給ス

山林原野反別假戶數表

假戶數	一役場受持内 山林原野	反別	假戶數	上同 反別	假戶數	上同 反別
一戸	十町ヨリ廿九丁迄	十戸	二百八十丁ヨリ 三百十九丁マテ	十九	七百八十丁ヨリ 八百五十九丁マテ	
二戸	三十町、四十九、	十一	三百二十丁、 三百五十九丁、	二十	八百六十丁、 九百三十九丁、	
三戸	五十丁、 六十九丁、	十二	三百六十丁、 三百九十九丁、	二十一	九百四十丁、 千四十九丁、	
四戸	七十丁、 八十九丁、	十三	四百丁、 四百三十九丁、	二十二	千五十丁、 千百四十九丁、	
五戸	九十丁、 百十九丁、	十四	四百四十丁、 四百七十九丁、	廿三	千百五十丁、 千二百四十九丁、	
六戸	百二十丁、 百五十九丁、	十五	四百八十丁、 五百三十九丁、	廿四	千二百五十丁、 千三百四十九丁、	
七戸	百六十丁、 百九十九丁、	十六	五百四十丁、 六百十九丁、	廿五	千三百五十丁、 千四百四十九丁、	
八戸	二百丁、 二百三十九丁、	十七	六百二十丁、 六百九十九丁、	廿六	千四百五十丁、 千五百四十九丁、	
九戸	二百四十丁、 二百七十九丁、	十八	七百丁、 七百七十九丁、	廿七	千五百五十丁、 千六百四十九丁、	

廿八	千六百五十丁、 千七百四十九丁、	三十六	二千四百五十丁、 二千五百四十九丁、	四十四	三千二百五十丁、 三千三百四十九丁、
廿九	千七百五十丁、 千八百四十九丁、	三十七	二千五百五十丁、 二千六百四十九丁、	四十五	三千三百五十丁、 三千四百四十九丁、
三十	千八百五十丁、 千九百四十九丁、	三十八	二千六百五十丁、 二千七百四十九丁、	四十六	三千四百五十丁、 三千五百四十九丁、
三十一	千九百五十丁、 二千零四十九丁、	三十九	二千七百五十丁、 二千八百四十九丁、	四十七	三千五百五十丁、 三千六百四十九丁、
三十二	二千零五十丁、 二千一百四十九丁、	四十	二千八百五十丁、 二千九百四十九丁、	四十八	三千六百五十丁、 三千七百四十九丁、
三十三	二千一百五十丁、 二千二百四十九丁、	四十一	二千九百五十丁、 三千零四十九丁、	四十九	三千七百五十丁、 三千八百四十九丁、
三十四	二千二百五十丁、 二千三百四十九丁、	四十二	三千零五十丁、 三千一百四十九丁、	五十	三千八百五十丁、 三千九百四十九丁、
三十五	二千三百五十丁、 二千四百四十九丁、	四十三	三千一百五十丁、 三千二百四十九丁、	五十一	三千九百五十丁、 四千零四十九丁、

○訓令第二百四十三號 二十年三月十一日

郡役所

戸長役場

國税ニ係ル營業者不納セシモノ及税金不納ノ儘失踪セシモノ等別紙ノ通佐賀縣廳ヨリ通
報越候條寄留再營業願出ルカ又ハ失踪者所在發顯候節ハ不納税金ヲ徴收シ其旨收稅長へ
申報スヘシ(別紙零ス)

○訓令第二百四十四號 二十年三月十二日 郡役所 戶長役場

客年十二月訓令第三百廿九號縣廳處務細則第四章分課章程中改正削除(改訂)

○訓令第二百九十五號 二十年三月二十三日 郡役所 戶長役場

明治十九年(三月)乙第四十七號達中左ノ通増補ス

第五條中判明致サ、ル時ハ(第一號)ノ下ニ(二通)ノ割書ヲ加フ

第九條中末段ノ(仕譯書)ノ下ニ(仕譯書ハ二通)ノ割書ヲ加フ

第五號書式(症候)ノ次ニ(一歩行難易)ノ一項ヲ加フ

○訓令第三百十七號 二十年三月二十四日 郡役所 戶長役場

縣立學校 縣立病院

明治二十年度地方稅收支科目別冊ノ通相定ム

但科目流用ノ義ハ左ノ通心得ヘキ

一豫算決定額ニ對シ實費過不足ヲ生セントシ萬一不得止トキハ左ノ大科目ハ一大科目限

リ小科目ハ該中科目内ニ於テ彼此適宜流用スルコトヲ得
一教育費中教育會費生徒遊學費ノ二中科目内各小科目ハ該中科目内ニ於テ彼此適宜流用
スルコトヲ得

一前項適宜流用ヲ爲セシ時ハ其科目ニ對シ流用ヲ要セン事由及金額ヲ詳記シ時々之ヲ知
事ニ報告スヘシ

適宜流用科目

大 科 目	中 科 目	小 科 目
教 育 費	教育會費	
浦役場及難破船諸費	生徒遊學費	
戶長以下給料旅費		雜給中戶長一時賜金ヲ除ク
		給助賜金

明治二十年三月 訓令

六百十

	賞與	警察費縣監獄費ニ限ル
	入學費	
	諸手當	
	備品	傳染病豫防費ニ限ル
	消耗品	
	印刷費	勸業費ヲ除ク
	郵便稅	
	電信料	
	運搬費	
	賄費	
	患者費	
	留置及囚人諸費	

明治二十年三月 訓令

六百十一

	留置人費	
	修繕費	揭示諸費及傳染病豫防費ニ限ル
	諸手數料	
	刑具諸費	
	戒具諸費	
	囚人護送費	
	飯米代	
	菜代	
	浴湯費	
	療養費	
	埋葬費	
	寫真費	

地 租 割	地方税科目		大 科 目	小 科 目
	租	割		
		救助費同		
		慰勞手當同		
		雇給同		
		雇員月給		傳染病豫防費ニ限ル
		管外旅費		警察費ニ限ル
		管内旅費		警察費及傳染病豫防費ニ限ル
		区内旅費		
		雜費		
		移轉費		

營業稅	營業稅									
雜種稅	工商業稅	料理屋稅	芝居茶屋稅	飲食店稅	湯屋稅	理髮人稅	傭人請宿稅	遊藝師匠稅		

遊藝	相撲	俳優	藝妓	市場	演劇	興行	遊覽所	遊技場	人寄席	船	車
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅

戶數割
雜收入

水車	乘馬	屠畜	漁業	採藻	鳥獵	自轉車	烟火	警察費	警察廳舍建築修繕費雜入
稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	稅	雜入	雜入

土木費雜入	縣會議諸費雜入	衛生及病院費雜入	教育費雜入	郡廳舎建築修繕費雜入	郡吏員給料旅費及廳中諸費雜入	勸業費雜入	戶長以下給料旅費雜入	縣廳舎建築修繕費雜入	縣監獄費雜入	縣監獄建築修繕費雜入	十九年度地租割延納
-------	---------	----------	-------	------------	----------------	-------	------------	------------	--------	------------	-----------

十九年度戶數割延納	營業稅延納	雜種稅延納	地方稅戶長妨取賠償金	地方稅不納官沒地拂下代	全官沒品拂下代	前々年度ヨリ繰越金	國庫下渡金	地方費科目	大科目	中科目	小科目	細目	警察費	俸給	明治二十年三月 訓令	六百十七
-----------	-------	-------	------------	-------------	---------	-----------	-------	-------	-----	-----	-----	----	-----	----	------------	------

巡査月給	備員月給	雜給	備給	區内旅費	管内旅費	管外旅費	給助賜金	勉勵賜金	賞與	諸手數料	被服費
月日給雇	月日給雇		給任小使給料醫師鑑定人日當細取戒護人舟雇賃臨時雇人足賃	巡査ニ限ル(舟車賃トモ)	巡査雇員出張旅費并ニ証人鑑定人旅費	巡査雇員出張旅費并ニ巡査船船車賃松賃賃費	給助例ニ依リ巡査ヘ賜金	巡査以下小使ニ至ル賜金	巡査職務上功勞賜金	爲換方給料爲換手數料新聞紙廣告料	帽子夏冬服肌着股引帽子日覆雨覆外套長短靴々々下等巡査ニ給與

應費	備品	消耗品	印刷費	郵便稅	電信料	運搬費	賄費	留置及囚人諸費	庶費
	椅子テーブル書箱書籍硯箱火鉢土瓶茶碗時計ラノブ其他必需ノ備品新調修繕以下此費目皆同シ	諸紙筆墨薪炭油蠟燭其他必需品以下此費目皆同シ	警号達警察一覽表巡査波諸規則職員録ノ類	郵便爲換料トモ以下此費目皆同シ	手數料トモ以下此費目皆同シ	物品及現金公文書類ノ運送ニ要スル人足車馬賃並ニ船雇荷造用品(封筒ノ類ヲ除ク)トモ以下此費目皆同シ	小使宿直休暇日當直掛料及巡査雇員以下臨時辦當料	留置人賄料及囚人護送途中賄料外ニ人力車駕籠賃舟橋錢笠蓬草鞋藥價ノ類	馬丁給料旅費馬醫等ノ給料馬具鞍付雜具飼料薪炭油馬藥鉄履馬借入料ノ類

警察廳舍建築修繕費	修繕費	警察本署 桑名警察署 南大社警察署 四日市警察署 關警察署 神戸警察署 津警察署 久居警察署	廳舍其他小破修繕 應舍及派出所見張所疊建具柵籠等其 他修繕費以下全斷
	入學費	警官練習所へ入學巡查ノ賄費及筆紙 墨備品小使其他諸費	
	雜費	借家料物品借入捐料官物拾得者報勞 金營業鑑札費	

土木費	道路橋梁費	道路改修費	松坂警察署 相可警察署 山田警察署 鳥羽警察署 上野警察署 名張警察署 尾鷲警察署 木ノ木警察署
-----	-------	-------	---

	道路修繕費	國道及假稱縣道修繕
	雜費	測量事業手月給同旅費測量諸費并 =修繕器械代
	並木植繼費	並木苗及植付トモ
	橋梁費	橋梁架換修繕用
	治水堤防費	
	河川工費	舊一二等川工費
	沙除工費	
	雜費	事業手月給全旅費
	町村土木補助費	
	道路橋梁改修補助費	
	河溝道路補助費	
	橋梁補助費	

	縣會議諸費	
	俸給	
	雜給	
	常置委員月手當	
	備給	書記受付及ヒ雜務掛給仕小使議場門 番給料臨時雇入人足賃
	旅費	議長以下議員常置委員旅費
	諸手當	寫字料等枚數當リヲ以テ給與
	雜費	
	備品	
	消耗品	
	印刷費	議案決算報告議事筆記決議錄意見報 告ノ類
	郵便稅	

	電信料	受付小使宿直賄料書記以下小使ニ至 臨時居殘辨當料
	賄費	議場屋根其他小破修繕
	修繕費	宿直臥具借入損料
	雜費	
衛生及病院費	衛生費	
	委員手當	衛生會非職委員手當
	郡醫年給	
	備給	書記及給仕給料
	管内旅費	衛生會委員旅費
	備品	
	消耗品	

	印刷費	衛生會日誌議案及年報ノ類
	病院費	
	院長月給	
	醫員月給	
	備員月給	諸務掛藥局長訓劑生受付兼器械研磨 方給料
	備給	看護婦小使給臨時備人足賃

○訓令第三百十八號 二十年三月廿四日 郡役所 警察署 分 署
監 獄 戶長役場

明治十五年(七月)太政官第四十一號公達ニ據リ巡查看守給助金額左表之通相定メ來ル四月一日ヨリ實施ス

巡查看守給助金額

種 目	本 例	金 額
-----	-----	-----

退職給助 第三條	第一項	金貳拾圓 一年毎ニ金三圓ヲ増給ス
	第二項	金貳拾五圓 一年毎ニ金五拾錢ヲ増給ス
傷瘻給助 第四條	第一項	金三拾圓
	第二項	金貳拾圓
死亡給助 第五條	第一項	金三拾圓
	第二項	金五拾圓
	第三項	金五拾圓
療治料 第六條		一日金壹圓以內
祭祀料 第七條	第一項	金拾圓 一年毎ニ金三圓ヲ増給ス
	第二項	金五拾圓

一 本例實施前ノ勤続年數ニ之レヲ通算ス
但一旦打切滿年賜金ヲ得タルモノハ此限ニアラス

二 年金支給計算方ハ其年額ヲ月額ニシ退職死亡又ハ傷瘻等ノ翌月ヨリ支給ス其給與ヲ止ムル場合ニ於テハ日割ヲ以テ計算ス

三 退職給助ト傷瘻給助トハ併セ行フモノトス

○訓令第三百十九號 二十年三月廿四日 郡役所 警察署 分 署

監 獄 戸長役場

巡查看守給助例施行順序左ノ通相定ム

巡査
看守
給助例施行順序

第一條 本例ニ據リ給助ヲ出願スルモノハ左ノ手續ヲナスヘシ

- 一 年金ヲ受クヘキ者(退職及傷瘻者并寡婦孤兒)ハ別紙第一二號書式ノ願書ニ其郡區戸長ノ奥印ヲ受メ(他管下ノモノハ本管廳ヲ經テ)當廳ヘ出願スヘシ
- 二 一時給助金ヲ受クル者(祖父母父母兄弟姉妹并孤兒滿二十歲以上廢篤疾者)ハ別紙第三四號書式ノ願書ニ親族二名(親族ナキトキハ其理由ヲ記スヘシ)ノ連署ヲ以テ

其郡戸長ノ奥印ヲ受ケ(他管下ノモノハ本管廳ヲ經テ)當廳へ出願スヘシ

三 療治料ヲ請求スル者ハ月末毎ニ其日數ト金額トヲ願書ニ詳記シ主治醫ノ藥價表ヲ

添へ(巡查ハ所轄警察署長看守ハ所轄監獄官)ヲ經テ當廳へ差出スヘシ

第二條 本例ニ依リ年金ヲ受クヘキモノニハ第五號書式ノ証票ヲ附與スヘシ

第三條 年金ハ年兩度(九月三月)ニ當廳(他管下ノモノハ本人所在ノ管廳)ニ於テ半額宛
ヲ下付スルモトス

但受給者ハ第六號書式金額領收証ニ所在區戸長ノ奥印ヲ受ケ証票ヲ添へ差出スヘシ
尤モ代理人ヲ差出スキハ委任狀ヲ持參セシムヘシ

第四條 年金ヲ受クル者本例第八條第九條ノ各項ニ該ルカ又ハ轉籍死亡再縁等戸籍上異
動アルキハ所在郡區戸長ノ奥印ヲ受ケタル書面ヲ以テ(他管下ノモノハ其管廳ヲ經テ
(當廳へ届出ヘシ

但本例第八條第一項ニ該ルカ若クハ死亡再縁等ニ係リ給助ヲ受クルノ權理消滅シタ

ル時ハ該屆書ニ年金証票ヲ添へ之ヲ返納スヘシ

第五條 職務ノ爲メ負傷シタル者及ヒ負傷後若クハ傳染病ニ罹リ死亡シタル者ノ證明ハ

(巡查ハ警察醫看守ハ監獄醫)若クハ公立病院長ノ診斷ニ限ルモノトス尤傳染病ニ罹ル

モノ急遽ノ場合ニ在テハ主治醫ノ診斷ニ(巡查ハ警察醫看守ハ監獄醫)ノ檢印ヲ受ケ差
出スヘシ

但他府縣ニ於テ負傷ニ原因シ死亡ニ係ル者或ハ孤兒滿二十歳以上ニシテ癩癘疾者ノ
證明ハ其最寄公立病院長又ハ開業醫ノ診斷書ヲ以テ差出スヘシ

第一號 (用紙美濃紙)

退職
傷痍給助願書

私儀滿何年間勤績(或ハ今般負傷候處何等傷ニ策定相成)候ニ付テハ相當ノ給助金下賜度
(或ハ別紙診斷書相添)此段奉願候也

何(府縣)何(郡區)何(町村)何番地族籍
元何々詰巡查又ハ看守

年號月日

何 某 印

何年何月何日生

知 事 宛

右當郡區内本籍ノ者ニ相違無之候也

何(町村)戸長

年月日

何 某 印

何(郡區)長

何 某 印

第二號 (用紙美濃紙)

寡婦 給助願書
孤兒

私(夫又ハ實養父)(巡查看守)何某何々ノ爲ノ何年何月何日死没候ニ付テハ相當ノ給助金
下賜度別紙死亡診斷書及戸籍書相添此段奉願候也

年號月日

何 某 印

何(府縣)何(郡區)何(町村)何番地族籍
右何某(寡婦)(孤兒)

何年何月生

全 族籍

親族 何 某 印

全 全

全 何 某 印

知 事 宛

右當(郡區)内本籍之者ニ相違無之候也

何(町村)戸長

年號月日

何 某 印

何(郡區)長

第三號 (用紙美濃紙)

死亡給助願

今般(巡查看守)何某職務ノ爲メ(或ハ負傷後)何年何月何日死亡候處私共儀從來死者ニ因リ生計相營ニ罷在候ニ付テハ相當ノ御給助被成下度別紙死亡診斷書及戶籍書相添親族連署ヲ以テ此段奉願候也

何(府縣)何(郡區)何(町村)何番地

族籍故(巡查看守)何某 祖父母父母又ハ兄弟姉妹

年號月日

全 族籍

何 某 印

親族 何 某 印

全 全

知事宛

全 何 某 印

右當(郡區)内本籍之者ニシテ巡査監守給助例第八條第九條ニ該ラサル者ニ候也

何(町村)戶長

年月日

何 某 印

何(郡區)長

何 某 印

第二第三號戶籍書式 (用紙美濃紙)

族籍	華士族平民	姓	何
戶主	何年何月何日相續	名	何
二三男歟	或ハ別居(養實)子		明治何年何月何年何月
誕生年月日	年號何年何月何日生		
本籍住所	何府何郡何町何番地 或ハ何某方同居		

寄留住所	同	年號(干支)何年何月何日生
父母	同	同
養父母	同	同
祖父母	同	同
妻	某	何(府縣)何(郡區)何(町村)族籍何某何女何年何月何日入籍 年號(干支)年月日生 同婚姻
嗣子	某	年號何月何日生
次男	某某	同
兄弟	同	同
姊妹	同	同

右當(郡區)内戶籍簿之通相違無之候也

何(町村)戶長

何(郡區)長

年月日

何 某 印

第四號 (用紙美濃紙)

癩篤疾給助願

何 某 印

私 儀

明治何年何月ヨリ御給助相受テ罷在候處本月ヲ以テ滿二十歳ニ相至候得共從來癩(篤)疾ニ有之候間猶相當ノ御給助被成下度別紙醫員診斷書相添此段奉願候也

何(府縣)何(郡區)何(町村)何番地族籍

故(巡查看守)何某長(男女)

年月日

何 某 印

全 族籍

何年何月生

親族 何 某 印

知事宛

右當(郡區)内本籍之者ニ相違無之候也

全全

全何某印

何(町村)戸長

何某印

何(郡區)長

何某印

第五號

何(府縣)族籍

巡查 何某
看守 何某

何年何月生

給助之證

第何號

右ハ滿何年間勤績(故巡查看守何某) 候ニ付年金何圓ヲ給與ス
為職務負傷(為職務死亡)

年月日

何(府縣)族籍故巡查 何某妻(長男又ハ) 養子等

何某 何年何月生

何(府縣)族籍

巡查 何某
看守 何某

給 第何號此證 第何號此證
ヲ禁ス

何(府縣)族籍故巡查 何某妻(長男又ハ) 養子等

何某

助 之 證
ハ買買讓與質入書ト

右ハ滿何年間勤續(故巡查看守何某)候ニ付年金何圓ヲ給
為職務負傷(為職務死亡)與ス依テ此證ヲ付與スル者也

何年何月生

三重縣知事 何 某 印
三重縣警部長 何 某 印
看守ノ片ハ第二部長三重縣書記官何某印

第六號 (用紙美濃紙)

何給助金領收證

本年(上下)半季分何給助金何十圓御下付相成正ニ領收仕候也

何(府縣)何(郡區)何(町村)何番地族籍

年月日

元(巡查看守) 何 某 印
或ハ故巡查看守 何 某 印
何某寡婦孤兒 何 某 印

知 事 宛

右ハ現今當(郡區)内本籍(或ハ寄留籍)居住之者ニ相違無之候也

何(町村)戸長

年月日

何(郡區)長

何 某 印

○訓令第三百廿七號 二十年三月廿六日

郡役所 縣立學校 戸長役場
病 院 浦役場

地方稅支辨ニ係ル給與規則左ノ通改正明治二十年度ヨリ施行ス

但別段ノ規則アルモノハ本令ノ限ニアラス

給與規則

第一章 賄 費

第一條 各所職員中月俸百圓未滿ノ者ハ本章各條ニ據リ辨當料ヲ支給スヘシ

但月俸百圓未滿ト雖モ奏任ノ待遇ヲ受クル者及戶長筆生ハ本章第三條ノ外ハ支給ノ限ニアラス

第二條 辨當料ハ左ノ額ニヨリ支給ス尤現物ヲ以テ給スルモ各所ノ適宜タルヘシ

一度ニ付金三錢ヲ給スル者、郡書記、傭員、看守、女監取締、縣立學校病院職員ノ類
一度ニ付金貳錢五厘ヲ給スル者、戶長、筆生、押丁、給仕、小使其他小者ノ類

第三條 各所宿直ノ職員ハ其夕並翌朝ヲ合セ兩度ノ辨當料ヲ支給ス但休暇祭祝日當直ノ者ハ午餐一度分ノ辨當料ヲ支給スヘシ

第四條 宿直ノ節事務繁劇ノタメ徹夜又ハ夜十二時ヲ過クル片ハ夜食一度分ノ辨當料ヲ支給スヘシ

第五條 宿直ノ翌朝主務ノ繁劇ヲ較リ退應ヲ許スコトヲ規定セン各所ニ在テ主務繁劇ノ爲メ退應午時ヲ過クルモノハ午餐一度分ノ辨當料ヲ給スルヲ得

第六條 事務繁劇ノ爲メ職員退應午后八時ヲ過クレハ辨當料一度夜十二時ヲ過クレハ二度徹夜スレハ翌朝分ニ合セテ三度分ヲ支給ス

第七條 休暇祭祝日事務繁劇ノ爲メ登應シ退應午時ヲ過レハ辨當料一度分ヲ支給ス但吏員近傍各地ニ派出シ旅費日當ヲ支給セサル場合ニ於テハ本條ニ準シ辨當料一度分ヲ支給ス

第八條 吏員近傍各地ニ派出シ旅費日當ヲ支給セサル者ニシテ該派出先キ事務繁劇ノ爲メ午后八時及午后十二時又ハ徹夜ニ至ル者ハ第六條ニ準シ辨當料ヲ支給スヘシ

第九條 水火震災其他非常ノ節退應后更ニ出應ノモノハ其時間(即夜十二時前出應十二時ヲ過クレハ一度徹夜スレハ二度分)ニ應シ第六條ニ準シ支給スヘシ

第十條 免職后チ舊事務取扱ノタメ呼出シ其應ニ於テ夜業ニ從事セシムルトキハ第六條ニ準シ辨當料ヲ支給スヘシ

第二章 留置人員

第十一條 郡長司法警察官ノ職務ヲ行フニ方リ被告人ニ係ル諸費ハ左ノ制限以内ヲ以テ適宜辨給スヘシ

一 賄料

- 一 泊 二 賄飯米菜代臥具 金拾錢
點燈其他手數料共
- 一 晝 一 賄手數料トモ 金三錢
- 二 看護人雇給料一度ニ付 金貳拾錢
- 三 附添人雇給料一里ニ付 金六錢

但車駕賃手拭紙笠蓆草靴ノ類及醫師診察手數料並藥價等ハ各其實費ニ據ル

第三章 一時賜金

第十二條 戶長五年以上奉職十一年未滿ニシテ退官セン片ハ現俸給三ヶ月分ヲ給シ其滿十一年以上ニシテ全上ノ者ニハ現俸給四ヶ月分ヲ給ス但自己ノ便宜ニ依リ退官ヲ請フ

者又服務紀律ニ違ヒタル者ノ諭旨退官及懲戒處分若クハ刑事裁判ニヨリ免官セン者ニハ總テ之ヲ給セス

第十三條 戶長在職中死亡ノモノハ現俸給三ヶ月分ヲ給ス

第十四條 戶長他ノ官吏ヘ轉シタル片ハ其俸給年限第十二條ニ該當ノモノハ其際打切之レヲ給ス

第十五條 一時賜金年數ノ計算ハ明治十五年(十二月)第七十一號公達ノ日ヨリ計算スヘシ

第十六條 第十二條乃至第十四條ニ該當スルモノアル片ハ其都度郡役所ニ於テ其年曆ヲ取調縣廳ヘ開申スヘシ

○訓令第三百二十八號 二十年三月二十六日 警察署 分 署 戶長役場
巡查教習所規則別紙之通改正ス

巡查教習所規則

第一章 通則

第一條 本所ハ巡查志願者ニシテ規則ニ依リ検査合格ノ者ヲ以テ教習生トシ警察ノ實務ヲ練習スル所トス但時宜ニヨリ巡查ヲ以テ教習生ニ加フルコトアルヘシ

第二條 教習生ハ定員ヲ五十名トス

第三條 教習ノ期限ヲ二ヶ月トス

第四條 巡查在職ノ教習生ハ時宜ニヨリ一時本務ニ服セシムルコトアルヘシ

第五條 教習生ヲ命セラレタルモノハ左ノ受書ヲ出スヘシ

受書

府縣國郡町村番屋敷
(當縣國郡町村番屋敷寄留) 氏名

右貴所受業生被命候ニ付テハ御規則及御達等堅ク可相守ハ勿論身元並ニ學資ノ償還其他在學中ノ事故ハ一切証人ニ於テ引受可申因テ証人連署ヲ以テ御受申上候也

年月日

木人氏 名 印

三重縣郡町村番屋敷

氏名 印

當何月何年何ヶ月

全

全

全

保証人ハ本縣在籍ノモノニ限ル而シテ年齢滿二十歳以上ニシテ資産アルモノヲ撰ムヘシ

第六條 教習生ハ本所内ニ寄宿セシメ通學ヲ許サス

第七條 教習生ハ半途ニシテ退學シ又ハ期限内他ノ官途ニ出身スルヲ許サス

第八條 試験ニ及第シタルモノハ卒業證書ヲ授與シ其成績殊ニ優等ノモノハ褒狀ヲ與フ

若シ落第シタルモノハ再試験ヲナシ仍ホ落第シタル片ハ卒業證書ヲ與ヘス

第九條 卒業證書ヲ受ケタルモノハ巡查ニ採用ス巡查滿員ノ片ハ一時歸家セシメ欠員ヲ待テ採用スヘシ

第十條 凡ソ巡查採用ノ片ハ五等俸ヲ給スルヲ以テ例トスト雖學力優等品行方正ノ者ハ此例ニ拘ハラステニ撰拔スルコアルヘシ巡查ニシテ教習生タル者ハ試験成績ニヨリ黜陟スルコアルヘシ

第二章 學科

第十一條 教習科目左ノ如シ

- 執行警察
- 安寧警察
- 營業警察
- 風俗警察

衛生警察

道路警察

司法警察

設問起案

操 練

擊劍柔術及捕繩

第十二條 教師ノ講義ハ教習生自ラ筆記スヘシ

第十三條 設問起案ハ發告書報告書諸般ノ復命書檢証調書告訴發調書逮捕調書令狀執行方法其他探偵書上申書等職務ニ必要ナル諸般ノ文案ヲ授クヘシ

第十四條 操練ハ姿勢運動ヲ敏活ナラシムルヲ目的トシ時々隊伍ヲ組ミ野外運動ヲナサシメ他日隊伍ヲ編制スルニ差支ナカラシム

第三章 授業休業

第十五條 授業時間ハ毎日七時間トス

第十六條 休業ハ一般官衙ノ例ニヨル

第四章 試験

第十七條 試験ハ大試験小試験ノ二種トシ大試験ハ教習期限ノ終ニ於テ行ヒ小試験ハ入學一ヶ月後ニ於テ之ヲ行フ

第十八條 試験ハ對策應問ノ二種トシ毎科之ヲ行フ

第十九條 試験ノ成績ハ一科一百点ヲ以テ最高点トシ各科平均七十五点已上ヲ及第トシ七十五点未滿ヲ以テ落第トス

第二十條 平素ノ勤怠品行等ハ試験ノ際点数ニ算入ス

第五章 教場心得

第二十一條 授業上ノ事項ハ特ニ許可アルノ外他ニ漏洩スルヲ禁ス

第二十二條 教場ニアリテハ總テ教官ノ指揮ニ從ヒ容儀ヲ正クシ苟モ不敬ノ行爲アルハ

カラス

第二十三條 授業ノ終始ニハ教師ニ對シ起立シテ敬禮ヲナスヘシ

第二十四條 教官ニ對シ質問ノ應答ヲ爲ス片ハ起立スヘシ

第二十五條 教習生ノ席次ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定メ小試験ノ成績ニヨリ席次ヲ變更ス

第二十六條 授業中ハ猥リニ教場外ニ出ツヘカラス但止ムヲ得サル片ハ教師ノ許可ヲ受

クヘシ

第二十七條 教場ニ在リテハ喫烟又ハ私語談笑スヘカラス

第二十八條 總テ上官ノ來場アリタル時ハ教官ノ指揮ニヨリ起立シテ敬禮ヲ表スヘシ其

退場ノ時又同シ

第二十九條 授業終ルト雖許可ヲ得タル場合ノ外教官ニ先チ退場スルヲ許サス

第六章 教習生心得

第三十條 教習生ハ上官ニ對シ專ヲ敬禮ヲ盡シ其指揮命令ヲ遵奉シ品行ヲ正クシ姿勢ヲ

素スヘカラス

第三十一條 教習生中舎長若干名ヲ置キ室内ノ取締ヲナサシム

第三十二條 教習生ハ成規外ノ服ヲ着シ又ハ脱靴スヘカラス但寢室ニ在ル片ハ此限ニア

ラス

第三十三條 教習生ハ被服ヲ清潔ニシ靴ハ墨澤ヲ發センメ頭髮ハ長サ前一寸五分後五分

以下ニシテ毎朝梳ルヘシ

第三十四條 教習生ハ眼鏡杖傘頸卷呼吸器ノ類ヲ用フヘカラス

第三十五條 教習生ハ兼テ指定スル場所外ニ於テ被服帶劍帽靴等ヲ着脱收置スヘカラス

第三十六條 教習生ヨリ出ス願伺届ハ所長宛ニ認メ舎長ノ認印ヲ受ケ幹事ニ差出スヘシ

第三十七條 夜中不時ニ點檢ヲナスコアルヘシ此相圖ヲ受ケタル片ハ遅クモ十分間ニ職

具ヲ裝シ兼テ指定スル場所ニ駐付ケ其順序ニヨリ整列スヘシ

第三十八條 教習生外來人ニ面會スル時ハ應接所ニ於テ面談スヘシ但病氣其他不得止時

ハ幹事又ハ舎長ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十九條 教習生外出時間ハ時ニ告示スヘシ

第四十條 舎長ハ輪番ヲ以テ外出時間當直ヲナサシムヘシ

第四十一條 教習生外出スルトキハ名牌ヲ當直舎長ニ出シ歸舎ノ時之ヲ受取ルヘシ

第四十二條 教習生外出時間内ニ歸所セサルキト當直舎長ハ其名牌ヲ幹事ニ出スヘシ

第四十三條 父母重症他ニ看護スヘキモノナキ時ハ二週間以内看護ヲ許スコアルヘシ但

願書ニハ醫証ヲ添フヘシ

第四十四條 近火其他非常時變ニ遭遇スルキハ所長幹事ノ命令ニ從ヒ喧噪雜沓スヘカラ

ス

第四十五條 左ニ記載スルモノハ之ヲ給與ス

一 食料

一 藥餌

一筆紙墨

一炭油

第四十六條 左ニ記載スルモノハ之ヲ貸與ス

一日課用及參考書籍

一臥具類

一火鉢

一煙草盆

一靴箱

第四十七條 修業中出願退所シ又ハ巡查奉職年限内ニ辭職スルモノハ修業中ノ費用ヲ償還セシム若シ本人ニ於テ滯納スル片ハ證人ヨリ之ヲ辨償セシムヘシ

第四十八條 所内ニ於テ飲酒ハ勿論放歌喧噪其他猥褻ノ談話ヲ爲スヘカラス

第四十九條 寢臥時間ノ外私ニ寢室ニ臥スヘカラス

第五十條 所内ニ於テ稗史小説其他玩具ヲ弄フ可ラス

第五十一條 寢室ニ於テ喫烟談笑スルハ勿論火具ヲ入ルヘカラス

第五十二條 教習生ハ食堂ノ外飲食スヘカラス但其時間ハ號鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第五十三條 室内ハ輪番ヲ以テ一日一回己上掃除スヘシ

第五十四條 本所ノ物品ヲ粗暴ニ取扱又ハ猥ニ使用スヘカラス

第五十五條 猥リニ金錢衣類ヲ貸借シ又ハ借用ノ物品ヲ轉貸スヘカラス

第五十六條 教習生疾病ニ罹リタル片ハ三重縣病院ニ於テ診療ヲ受ケシム但特ニ許可ヲ得タル時ハ他ノ診療ヲ受クルコトヲ得

第五十七條 傳染病又ハ重病ニ罹リタル片ハ入院セシメ或ハ下宿ヲ命シ又ハ直ニ証人ニ引渡スコトアルヘシ

第五十八條 教習生疾病ニ罹リ二週間ヲ過キ痊癒セサル片ハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第五十九條 教習生疾病ニ罹リ欠課シタル片ハ當日ノ外出ヲ許サス

第六十條 教習生疾病ニ罹リ治療ヲ受ケント欲スルモノハ其旨願出受療証ヲ受ケヘシ
 第六十一條 前條受療証ヲ受ケタルモノハ幹事又ハ舍長ニ告ケ病院ニ至リ受療証ヲ示シ
 治療ヲ請フヘシ歸所セシキハ直ニ幹事又ハ舍長ニ告ケ其藥餌ヲ示スヘシ但全快シタル
 片ハ受療証ヲ添ヘ其旨届出ヘシ

第六十二條 許可ノ上外宿治療スル者ハ病院ヨリ受ル處ノ藥餌ハ其受ケタル月日藥餌ノ
 數ヲ五日毎ニ申出ヘシ

第六十三條 書籍器具等ヲ借用セントスル者ハ幹事ニ申出貸渡簿ニ式ノ如ク記入押印スヘシ
 第六十四條 教習生ハ本則第五章以下ノ各條及ヒ時々示達スル所ノ條項又ハ命令ニ違背
 スルモノハ三週間以内ノ禁足ニ處シ又ハ巡查懲罰例ニヨリテ處分シ若シクハ教習生ヲ
 免スルコアルヘシ

○訓令第三百三十三號 廿年三月廿八日

明治十四年(十月)本縣乙第百六十六號達自今廢止ス

○明治自十九年九月告示之部
 至二十年三月

○告第百三十三號 十九年九月一日

「流行最行節花揃」出版發賣差止ノ件

○告第百三十四號 十九年九月二日

本年(八月)告第百三十號ヲ以テ及告示候臨時縣會議事結了本日閉會ノ件

○告第百三十五號 十九年九月三日

諸鑑札紛遺失ノ件

○告第百三十六號 十九年九月四日

明治十九年度地方稅追加豫算及追收補充等臨時縣會ノ決議ヲ以テ左ノ通相定ム
 右告示候事

支出豫算

一金八千九百八拾七圓八拾三錢六厘

衛生及病院費

但傳染病豫防費

豫備費

一金四千四百九拾八圓八拾六錢四厘
合計金壹萬三千四百八拾六圓七拾錢

追收豫算

金三千百貳圓六拾八錢四厘

地租割

但本年度地租豫算高百四拾壹萬三百拾壹圓地租壹圓ニ付金貳厘貳毛

一金千三百八拾四圓壹錢六厘

戶數割

但十八年六月調戶數拾七萬三千貳百壹拾壹戶ニ付金八厘

合計金四千四百八拾六圓七拾錢

(朱書) 外

一金九千圓

十八年度殘高ノ内ヨリ繰越

通計金壹萬三千四百八拾六圓七拾錢

支出豫算

一金千四百九拾五圓七拾八錢

教育費

但津中學校費

右教育費支出豫算ニ對スル金額ハ別ニ徵收セシ明治十九年度町村教育補助費ノ内町村立
中學校補助費ノ殘額ヲ以テ之ニ補充ス

○告第三百二十七號 十九年九月六日

諸鑑札紛失遺失ノ件

○告第三百二十八號 十九年九月八日

「長崎事件有の其儘」出版發賣差止ノ件

○告第三百二十九號 十九年九月十日

地券紛失ノ件

○告示第一號 十九年九月十三日

四日市鳥羽的矢ニ於テ虎列刺病流行地方ヨリ來ル船旅客ニ對シ船檢査規則實施ノ件

○告示第二號 十九年九月十六日

三重縣監獄本署ヲ安濃津第一監獄同津支署ヲ安濃津第二監獄同山田支署ヲ山田監獄同四日市支署ヲ四日市監獄同上野支署ヲ上野監獄ト改稱ス

○告示第三號 十九年九月二十二日

名古屋控訴院檢事長加納謙義管内巡回不在中檢事岡田豐事務代理ノ通知

○告示第四號 十九年九月二十四日

種苗請求規則左ノ通り改正ス

但購買方ヲ請求スルモノハ所轄郡役所へ申出ヘシ

試驗用種苗請求手續

第一條 農事ニ熱心シ試驗ノ爲種苗ノ下渡ヲ購求スル者ハ代價及運送費ヲ徵收セスレテ下付スルモノトス

第二條 種苗ヲ請求セントスルモノハ其名稱並ニ數量及產地ノ知シタルモノハ其產地ヲ

記シ本廳第一部第三課宛ノ請求書ヲ認メ勸業委員ノ奥書ヲ受ケ戶長役場ヲ經郡役所へ

差出スヘシ

但郡役所ニ於テハ取纏メノ上期限毎ニ本廳へ廻送スヘシ

第三條 種苗請求ノ期限ハ毎年兩度トス

第一期 冬作物及 四月三十日限

第二期 夏作物 十月卅一日限

但期限ニ依リ難キモノハ其理由ヲ記シ特ニ請求スヘシ

第四條 請求ノ種苗ハ每種一人ニ付種子ハ凡一升以内苗木ハ凡拾本以内トス

但請求人ノ多寡及種苗ノ種類ニ因リ數量ヲ減シ若クハ請求ノ前後ニ因リ人員ヲ限ル

トアルヘシ

第五條 請求者ハ種苗試作ノ景況ヲ時々勸業委員ニ報シ書面ヲ認メ得サルモノ勸業委員ハ口陳スルモ妨ナシ

ハ播種ヨリ收穫ニ至ル迄ノ景況書ヲ認メ之レニ意見ヲ付シ戸長役場及郡役所ヲ經本廳
第一部第三課ヘ差出スヘシ

但苗木ハ五ヶ年間毎年前一ヶ年ノ景況ヲ翌年一月限本文ニ倣ヒ差出スモノトス

第六條 請求ノ種苗ハ官廳又ハ勸業委員等ヨリ特ニ其生育ノ景況ヲ尋問シ或ハ取調書等
ヲ要望スル片ハ請求者ニ於テ速ニ其需メニ應スヘシ

第七條 請求ノ種苗ハ郡役所ヘ回送シ郡役所ニ於テハ便宜ノ方法ニ因リ本人ヘ下付スル
モノトス

但請求居住地ノ都合ニ因リ本廳ヨリ直ニ本人ニ下付スルコトアルヘシ

第八條 有益ト見認ムル植物ハ篤志ノ老農ヲ撰ヒ特ニ種苗ヲ下付シ試験ヲ要望スルコト
アルヘシ(二十年告示第廿六號ヲ以本條追加)

○告示第五號 十九年九月廿四日

船鑑札紛失ノ件

○告示第六號 十九年九月二十四日

地券紛失ノ件

○告示第七號 十九年九月廿五日

石井知事上京ニ付不在中伊藤書記官事務代理ノ件

○告示第八號 十九年九月廿八日

男女交合得失問答、衛生交合論、婚姻前後男女必携交合新論出版發賣差止ノ件

○告示第九號 十九年十月十一日

租稅檢査員派出所ノ内第五區派出所北牟婁郡尾鷲ヲ(南牟婁郡木ノ本)ト更正ス

○告示第十號 十九年十月十八日

安濃津始審裁判所長沼東夫管内巡回不在中判事禰津恂應務代理ノ通知

○告示第十一號 十九年十月十九日

明治二十年度通常縣會來ル十一月四日ヨリ開設ス

○告示第十二號 十九年十月廿日
來ル十一月一日ヨリ左ノ通徴兵署開設ス

第三軍管第五師管三重縣徴兵署 三重縣屬内
第四軍管第七師管三重縣徴兵署 阿拜郡上野

○告示第十三號 十九年十月廿五日

明治十七年^三本縣甲第二十四號布達木曾川淀川町屋川^{一名員}三川流域諸山土砂扞止ノ諸
辨川 作業中伐木伺ハ自今一時ニ伐採スルモノ或ハ其年限ヲ要スルモノハ之ヲ年毎ニ區分シ下
柴刈取モ同様區分ヲ立テ其期限ヲ明記差出スヘシ

○告示第十四號 十九年十月二十六日

石井知事歸縣ニ付伊藤書記官ノ事務代理解任ノ件

○告示第十五號 十九年十月廿七日

地券鑑札人力車等紛失盜難ノ件

○告示第十六號 十九年十月廿七日

伊勢國安濃郡津上辨財町平民黒川惣吉所有ノ新公債証書紛失ノ件

○告示第十七號 十九年十月三十日

荅志郡撰舉縣會議員補缺ノ爲メ撰舉會開設セシ處左記之者當撰セリ

荅志郡堅神村平民

中山市太郎

○告示第十八號 十九年十一月六日

船舶旅客檢疫ノ儀本年告第七十八號告第八十號告第九十五號告示第一號等ヲ以テ告示ノ
處廢止ノ件

○告示第二十號 十九年十一月十日

コレヲ病流行地方ヨリ古着襪履ノ輸入禁止ノ儀本年六月甲第五十五號ヲ以テ布達及置候
處大阪府輸出品ニシテ荷物ノ外包若クハ送狀面左ノ印章アルモノハ輸入苦シカラス

一寸五分

荷物ノ外 包ニ捺ス 烙ヘキ 印	大阪府
消毒濟	シ

送リ狀ニ
捺スヘキ
章

大阪府
消毒所

朱印

九分

○告示第廿一號 十九年十一月十日

本年第四期安濃津重罪裁判所本月十日ヨリ開廳候旨該裁判長ヨリ通知越シタリ

○告示第二十二號 十九年十一月十七日

名古屋控訴院檢事長加納謙歸廳ニ付本月十五日ヨリ事務取扱ノ件

○告示第二十三號 十九年十一月廿二日

叙正五位 從五位勳四等 石井邦猷

本月十六日前書之通 宣下相成タリ

○告示第廿四號 十九年十一月廿四日

本年預リ米ニ用ユル石代平均相場左ノ如シ

米壹石ニ付
金五圓拾錢五厘〇壹糸

伊勢國
志摩國
紀伊國南牟婁郡
伊賀國

金四圓八拾貳錢貳厘八毛四糸

○告示第二十五號 十九年十一月廿四日

桑名郡橫滿藏新田地先海中長貳千五百二十間之處木曾川治水之爲杭木建設ニ付該杭木ニ舟筏ヲ繫キ或ハ滿潮之際舟筏ヲ乗上ル等總テ障害トナルヘキ所業無之標爲ク注意スヘシ

○告示第貳拾六號 十九年十一月廿六日

今般本縣縣令第十八號土木條例中願屆等之書式左之通相定ム

定式(堤防道路橋梁)修繕願書式 (用紙半紙野紙以下全シ)

何(川通街道)何(町村)地内字何(堤防道路橋梁)之義ハ漸次破損難擱ニ付來ル何年度ニ於

テ定式普請御施行(或ハ補助)被下度別冊目諭見帳相添へ此段奉願候也

何郡何町村外何々町村

年月日

戸長 何之 誰 印

(但補助費ニ係ル分ハ部理代人名
ニシテ戸長奥書以下之ニ做フ)

知事宛

臨時(堤防道路橋梁)修繕願書式

本月何日暴風雨ノ爲メ(何川通堤防又ハ何街道道路橋梁)破壊ニ付其旨即時(戸長ヨリ)御
届ニ及ヒ置候通何(町村)字何之分難擱ニ付臨時普請御施行(或ハ補助)被下度別冊目諭見
帳相添へ此段奉願候也

何郡何町村外何々町村

年月日

戸長 何之 誰 印

知事宛

堤防(道路又ハ橋梁等)破損即時届書式

何川通

何郡何町村

一堤防切(欠)所長何間

但立籠悉皆三角(片法)根柢何分通流失又ハ腹籠悉皆片法根柢何分通破損並杭何分通
流失等其要領ヲ摘記スヘン以下全シ

何街道

一道路切(欠)所長何間

巾何間

但左右石積破損等

何川通何街道

一板(石又ハ土)橋長何間

巾何間

但悉皆流失或ハ東(西)詰橋臺破損等

右ハ本月何日暴風雨ノ爲メ前書之通破損仕候ニ付不取敢此段及御届候也

明治十九年十一月 告示

六百六十八

年月日

知事宛

何之誰印

何郡何町村外何ヶ町村戸長

目論見帳書式 (用紙白半紙以下全シ)

明治何年何月(袋綴シ綴シ目ニ捺印ス)

(表書式) 何川通定式(臨時)堤防(道路又ハ橋梁等)修繕目論見帳

紙數何枚

何國何郡何(町村)

(目論見様式)

是ハ從來ノ振ニ準ヒ實地適當ノ目論見ヲ爲シ帳首ニハ反別地價ヲ記入シ帳尾ニハ地方稅町村費ノ負擔額ヲ明記スヘシ尙他ノ目論見帳モ亦全シ
右之通御座候也

何郡何町村外何ヶ町村

年月日

知事宛

戸長 何之誰印

出來形帳書式

明治何年何月(袋綴シ綴シ目ニ捺印シ帳尾別ニ白紙一枚ヲ添付ス)

(表書式) 何川通定式(臨時)堤防(道路又ハ橋梁等)修繕出來形帳

紙數何枚

何國何郡何(町村)

(出來形帳様式)

是ハ從來ノ振ニ準ヒ現在出來形ノ通記載スヘシ

右之通本月何日竣功仕候ニ付出來形帳ヲ以テ御届申上候也

年月日

知事宛

何郡何町村請負
部理代人

何之誰印
何之誰印
(入札受負指名受負共做之)

明治十九年十一月 告示

六百六十九

申出之通ニ付與印進達仕候也

何郡何町村外何々町村

年月日

戸長 何之誰 印

○告示第二十七號 十九年十一月廿六日

本年第三期安濃津重罪裁判所本月廿五日閉廳ノ件

○告示第二十八號 十九年十一月廿九日

本年(十月)本縣々令第十三號土木監督區署左之場所ニ設置レ來ル十二月一日ヨリ事務取扱ハシム

三重縣第一區土木監督署

桑名郡桑名南魚町四拾四番地

三重縣第二區土木監督署

縣廳內

三重縣第三區土木監督署

度會郡山田宮後町九番地

○告示第廿九號 十九年十二月一日

金祿公債証書抽籤ノ件

○告示第三十號 十九年十一月三十日

節用集早見、民家旨治麻理出版發賣差止

○告示第三十一號 十九年十一月三十日

賣藥行商者ニ於テ無印紙ノ藥劑ヲ携帶シ各地徘徊自用者ニ販賣スルノ弊習有之ヲ以テ今般愛知縣ニ於テ各自用者ヨリ所持ノ無印紙賣藥ヲ爲差出調査ヲ遂クルニ夥多ノ中或ハ販賣者ノ氏名住所又ハ授受ノ年月日等詳カナラサルモノ有之然レモ右ハ素ヨリ犯則品タルヲ免スカレサル義ニ付來二十年一月末日迄ニ申出ツルモノハ取調ノ上相當處分ヲナシ若シ期日內ニ何等申出サルモノハ直チニ毀却スヘキ旨今回該縣內ニ布令セシ趣ニ付自然管下ノ者ニシテ該縣下ノ需用者ヘ右等無印紙ノ賣藥ヲ販賣若クハ預ケ入等ヲ爲シタルモノハ該期日迄ニ其旨該縣ヘ申出ツヘシ

○告示第三十二號 十九年十二月二日

神佛拜覽記出版發賣差止

○告示第三十三號 十九年十二月三日

明治廿年度通常縣會本日閉場更ニ明日ヨリ明治十九年度警察費追加豫算并ニ同年度追收豫算其他同年度町村教育補助費豫算金額更正及同年度教育費追加豫算金額收入議定ノ爲メ臨時縣會ヲ開設ス

但本文臨時縣會ニ於テ土木法改正ノ事件ニ付會議ノ意見ヲ諮問ス

○告示第三十四號 十九年十二月八日

九星要覽方位獨稽古出版發賣差止

○告示第三十五號 十九年十二月九日

愛知縣ニ於テ賣藥自用者ノ所持セル無印紙賣藥處分方之義客月三十日付第三十一號ヲ以テ告示及置候處今般新瀨縣ニ於テハ本年限岐阜縣ニ於テハ來ル二十年三月末日迄ニ何等申出サルモノハ便宜棄却スヘキ旨該管内へ令達セン趣ニ付若シ本縣下ノモノニシテ該縣

下ノモノへ無印紙ノ賣藥ヲ授受セシモノハ右期日迄ニ其賣受又ハ預リ主ノ所屬戶長役場へ申出ヘシ

○告示第三十六號 十九年十二月十日

本月三日第三十三號ヲ以テ臨時縣會開設ノ義及告示置候處本日閉會引續キ明治十九年度土木費同豫備費追加豫算並同年度收入追加豫算議定ノ爲即日更ニ臨時縣會ヲ開設ス

○告示第三十七號 十九年十二月十一日

地券鑑札紛失遺失ノ件

○告示第三十八號 十九年十二月十三日

本月十日第三十六號ヲ以テ臨時縣會開設ノ義及告示置候處議事完了本日閉場ス

○告示第三十九號 十九年十二月十五日

常置委員豫備員廿年度通常縣會ニ於テ左記之通當撰セリ

福地 次郎

角 利助
海野謙次郎

○告示第四十號 十九年十二月十五日

本年コレヲ病ノ儀已ニ終熄ニ付本月十五日限リ檢疫本部ヲ廢ス

○告示第四十一號 十九年十二月十六日

曆曆出版發賣差止ノ件

○告示第四十二號 十九年十二月十六日

明治十九年度地方稅追加收支豫算并ニ豫算金額更正及收入等臨時縣會ノ決議ヲ以テ左ノ通り相定ム

支出ノ部

一金三千九百八拾六圓九拾錢六厘

警 察 費

内

金三千六拾六圓八拾五錢壹厘

地 方 稅

金九百貳拾圓五錢五厘

國庫下渡金

内 譯

金三千八百八拾九圓四拾四錢七厘

雜 給

金九拾七圓四拾五錢九厘

應 費

一金四千七百九拾四圓貳拾六錢壹厘

土 水 費
但道路橋梁費

一金四千七百七拾七圓七拾壹錢六厘

豫 備 費

収入ノ部

一金貳千貳百圓五錢六厘

地 租 割

但二十年地租豫算高百四拾貳萬八千六百八圓地租金壹圓ニ付金壹厘五毛四

一金八百六拾六圓七拾九錢五厘

戶 數 割

但十九年一月調總戶數拾七萬三千三百五十九戶壹戶ニ付金五厘

明治十九年十二月 告示

六百七十六

合計金三千六拾六圓八拾五錢壹厘

外

一金九百貳拾圓五錢五厘

國庫下渡金

總計金三千九百八拾六圓九拾錢六厘

一金六千三百七拾壹圓五拾九錢貳厘

地租割

但二十年地租豫算高百四拾貳萬八千六百八圓地租金壹圓ニ付金四厘四毛六

一金貳千六百圓三拾八錢五厘

戶數割

但十九年一月調總戶數拾七萬三千三百五十九戶壹戶ニ付金壹錢五厘

合計金八千九百七拾壹圓九拾七錢七厘

町村教育補助費豫算金額更正

明治十九年度町村教育補助費ノ内町村立中學校補助費ハ本年四月中學校令ノ發布ニ依

リ同年十月以後該補助費ヲ要セサルニ付同年度町村教育補助費ノ金額三萬四千壹百拾

七圓ヲ金三萬二千六百貳拾壹圓貳拾貳錢ニ更正ス

教育費追加豫算金額收入

明治十九年八月臨時縣會ニ於テ決議セシ明治十九年度教育費追加豫算金額ハ同年度町村教育補助費ノ更正ヨリ生シタル令員即明治十九年度收入殘額金壹千四百九拾五圓七拾八錢ヲ以テ之ヲ支辨ス

○告示第四十三號 十九年十二月十六日

零曆出版發賣差止ノ件

○告示第四十四號 十九年十二月十六日

明治十八年度備荒儲蓄金精算額別表ノ如シ

(別表)

自明治十八年七月 十八年度備荒儲蓄金出納精算額
至明治十九年三月

收

入

支

出

明治十九年十二月 告示

六百七十七

明治十九年十二月 告示

六百七十八

科目	金額	員	科目	金額	員
前年度ヨリ越高	六八四	一二四	火災救助	三二〇	〇六九
公儲金	二二、三五六	七五〇	風災救助	三六九	九〇六
配附金	二二、三九五	〇〇〇	水災救助	一、二二八	二三五
公債証書當簽益	七一九	一五〇	病災救助	五	〇〇〇
公債証書利子	一三、七六一	三七四	公債証書買入代	六一、九八〇	〇〇〇
公債証書當簽元	二、七八〇	八五〇	運送費	一	五六〇
十七年度公儲金	四八〇	六三	前年度追拂	〇	九四〇
雜收	九〇	八三	雜出	三二	三五八
合計	六四、七五四	三九四	合計	六三、九一八	〇五八
收出比較	入金八百三拾六圓三拾三錢六厘		收出比較	入金八百三拾六圓三拾三錢六厘	
收入	殘金八百三拾六圓三拾三錢六厘		收入	殘金八百三拾六圓三拾三錢六厘	

明治十九年三月卅一日儲蓄現在高

種類	額	員	額	員
公債証書	四三二、六二〇	〇〇〇	三八六、三〇九	七五〇

○告示第四十五號 十九年十二月十六日

吹寄春語録出版發賣差止ノ件

○告示第四十六號 十九年十二月十八日

十一月廿五日

一安濃津始審裁判所詰ヲ命ス

十一月廿五日

一安濃津始審裁判所山田支廳詰ヲ命ス

右之通安濃津始審裁判所長ヨリ通知越シタリ

○告示第四十七號 十九年十二月廿一日

農商家便覽農業獨案内出版發賣差止ノ件

山田支廳詰

始審裁判所判事石原虎雄

安濃津始審裁判所詰

始審裁判所判事禰津 恂

明治十九年十二月 告示

六百七十九

○告示第四十八號 十九年十二月廿一日

愛知縣ニ於テ賣藥自用者ノ所持セル無印紙賣藥處分方ノ議客月卅日付第卅一號ヲ以テ告示及置候處今般愛媛縣ニ於テハ本年限山口縣ニ於テハ來二十年一月末日迄ニ何等申出サルモノハ便宜毀却スヘキ旨該管内ヘ布令セン趣ニ付若シ本縣下ノモノニシテ該縣下ノモノヘ無印紙ノ賣藥ヲ授受センモノハ右期日迄ニ其買受又ハ預リ主ノ所屬戶長役場ヘ申出ヘシ

○告示第四十九號 十九年十二月廿三日

西洋かるた五十二枚箱入出版發賣差止ノ件

右本年十二月十六日出版發賣差止候旨內務省ヨリ通知ニ付翻刻相成ラス

○告示第五十號 十九年十二月廿三日

兩儀要説出版發賣差止ノ件

○告示第五十二號 十九年十二月廿五日

明治十八年度地方稅收支精算別紙ノ通結了ス

(別紙)

(○印ハ朱字)

明治十八年度地方稅收支精算書

支出ノ部

○豫算金五萬九千八百三拾八圓五拾錢貳厘

一金六萬貳百九拾圓六拾七錢五厘

警 察 費

○内

○金四萬六千三百七拾七圓四拾四錢貳厘

地 方 稅

○金壹萬三千九百拾三圓貳拾三錢三厘

國庫下渡金

内 譯

○金三萬五千九百七拾六圓

金三萬五千六百貳拾五圓五拾錢

俸 給

○金壹萬五千五百三拾五圓貳拾錢

金壹萬五千五百七拾五圓三拾貳錢九厘

八千三百貳拾七圓三拾錢貳厘

金九千八拾九圓八拾四錢六厘

○豫算金六百五拾七圓九拾七錢六厘

一金四百九拾五圓五錢四厘

○內

○金三百八拾圓八拾壹錢壹厘

○金百拾四圓貳拾四錢三厘

內 譯

○金三百九拾三圓六拾五錢五厘

金貳百六拾七圓九拾九錢三厘

雜 給

廳 費

警察廳舍建築修繕費

地 方 稅

國庫下渡金

建 築 費

○金貳百六拾四圓三拾貳錢壹厘

金貳百貳拾七圓六錢壹厘

○豫算金拾八萬八千六拾四圓八拾八錢壹厘

一金拾七萬八千四百拾五圓六拾七錢貳厘

○內

○金拾六萬三千九百三拾壹圓六拾七錢貳厘

○金壹萬四千四百八拾四圓

內 譯

○金三萬七千三百五拾八圓三厘

金三萬七千貳百七拾八圓貳拾貳錢九厘

○金拾五萬七百六圓八拾七錢八厘

金拾四萬千七百三拾七圓四拾四錢三厘

修 繕 費

土 木 費

地 方 稅

國庫補助

道 路 橋 梁 費

治 水 堤 防 費

明治十九年十二月 告示

六百八十四

○豫算金貳萬六千九百九拾五圓五拾八錢三厘

一金壹萬七千五百九圓三拾八錢貳厘

町村土木補助費

○豫算金四千七百八拾九圓貳拾四錢壹厘

一金四千九百六拾八圓六拾四錢六厘

縣會議諸費

內譯

○金千九百圓

金千九百貳拾圓

俸給

○金貳千六百八拾圓九拾五錢

金貳千九百壹圓貳拾七錢五厘

雜給

○金貳百八圓貳拾九錢壹厘

金百四拾七圓三拾錢七厘

雜費

○豫算金三千四拾五圓七拾七錢

一金三千四百貳拾八圓拾五錢三厘

衛生及病院費

內譯

○金三百六圓五拾六錢

金百八拾圓貳拾四錢壹厘

衛生費

○金貳千六百七拾九圓八拾八錢壹厘

金貳千五百七拾七圓拾九錢貳厘

病院費

○金五拾九圓三拾貳錢九厘

金六百七拾圓七拾貳錢

傳染病豫防費

○豫算金貳萬五千六百貳拾三圓拾七錢

一金貳萬四千四百貳圓六拾錢七厘

教育費

內譯

○金八千五拾三圓七拾貳錢七厘

明治十九年十二月 告示

六百八十五

金六千五百八拾三圓三拾七錢六厘

師範學校費

○金九千五百貳拾五圓貳拾貳錢三厘

金九千四百五拾三圓四拾六錢

高等津中學校費

○金七千七百拾三圓六拾五錢四厘

金八千四拾六圓六拾四錢四厘

甲種醫學校費

○金三百三拾圓五拾六錢六厘

金三百拾九圓拾貳錢七厘

印刷費

○豫算金貳萬五千九百八拾貳圓四拾五錢

一金貳萬五千九百貳圓貳拾八錢貳厘

町村教育補助費

○豫算金貳百三拾六圓貳拾五錢七厘

一金貳百拾六圓八拾三錢壹厘

郡廳舍建築修繕費

內 譯

○金貳拾貳圓六拾六錢八厘

金貳拾圓九拾貳錢貳厘

建築費

○金貳百拾三圓五拾八錢九厘

金百九拾五圓九拾錢九厘

修繕費

○豫算金五萬千四拾四圓拾貳錢

一金四萬八千八百四拾九圓九拾八錢壹厘

郡吏員給料旅費及廳中諸費

內 譯

○金三萬千貳百四拾八圓

金三萬六百貳圓六厘

俸 給

○金八千貳百五拾七圓九拾四錢七厘

金七千三百九拾八圓三拾貳錢七厘

雜 給

○金壹萬千五百三拾八圓拾七錢三厘

明治十九年十二月 告示

六百八十八

金壹萬八百四拾九圓六拾四錢八厘

廳 費

○豫算金八拾三圓貳拾貳錢四厘

一金五百四拾貳圓五拾九錢六厘

教 育 費

○豫算金貳拾七圓

一金貳拾四圓四錢壹厘

浦役場及難破船諸費

內 譯

○金貳拾貳圓五拾錢

金貳拾三圓五拾八錢壹厘

浦役場費

○金四圓五拾錢

金四拾六錢

難破船諸費

○豫算金貳千六百五圓七拾九錢九厘

一金貳千四百八拾圓八拾七錢九厘

諸達書及揭示諸費

內 譯

○金貳千五百九拾八圓四拾七錢九厘

金貳千四百六拾九圓九拾五錢貳厘

諸達書諸費

○金七圓三拾貳錢

金拾圓九拾貳錢七厘

揭示諸費

○豫算金千百拾四圓拾四錢貳厘

一金六百六拾七圓貳拾三錢九厘

勸 業 費

○豫算金七萬三千八百八拾三圓三拾四錢九厘

一金七萬四千貳百壹圓五拾壹錢壹厘

戶長以下給料旅費

內 譯

○金六萬貳千三百九拾四圓

金六萬貳千八百三拾五圓七拾八錢六厘

俸 給

明治十九年十二月 告示

六百八十九

○金壹萬千四百八拾九圓三拾四錢九厘

金壹萬千三百六拾五圓七拾貳錢五厘

雜給

○豫算金千三百貳拾七圓

一金千三百八拾圓拾五錢六厘

地方稅取扱費

○豫算金四百七拾四圓六拾壹錢五厘

一金四百七拾圓貳拾六錢九厘

縣廳舍建築修繕費
但修繕費

○豫算金六萬貳千八拾壹圓八拾四錢八厘

一金六萬千貳百七拾圓八拾六錢九厘

縣監獄費

內譯

○金七千九百八拾七圓五拾錢

金九千拾九圓

俸給

○金壹萬六千九百三拾八圓三拾貳錢三厘

金壹萬六千六百八拾圓七拾五錢八厘

雜給

○金三千百九拾貳圓拾八錢五厘

金貳千九百五拾三圓九拾壹錢九厘

廳費

○金三千七百貳拾六圓四拾五錢貳厘

金貳千三百四拾六圓七拾八錢六厘

未決囚諸費

○金三萬貳百三拾七圓三拾八錢八厘

金三萬貳百七拾圓四拾錢六厘

已決囚諸費

○豫算金八百七拾八圓貳拾壹錢六厘

一金八百八拾七圓七拾四錢九厘

縣監獄建築修繕費

內譯

○金四百拾三圓拾八錢

金四百貳拾四圓八拾壹錢四厘

建築費

明治十九年十二月 告示

六百九十二

○金四百六拾五圓三錢六厘

金四百六拾貳圓九拾三錢五厘

修繕費

○豫算金千四百六圓貳拾五錢

一金千三百五拾九圓七拾五錢

町村勸業補助費

一金九拾圓六拾壹錢六厘

雜出

○內

○金八拾六圓五拾壹錢五厘

地方稅

○金四圓拾錢壹厘

國庫下渡金

內 譯

金五拾四圓貳拾九錢三厘

缺損金

○內

○金五拾四圓貳拾三錢

地方稅

○金六錢三厘

國庫下渡金

金拾七圓五拾錢

十七年度警察費追拂

○內

○金拾三圓四拾六錢貳厘

地方稅

○金四圓三錢八厘

國庫下渡金

金貳拾壹錢三厘

十七年度諸達書及揭示諸費追拂

金三圓拾貳錢五厘

自十四年度至十七年度上半年 雜收入誤納下戻

金壹圓九拾六錢

十七年度地租割稅誤納下戻

金八圓三拾貳錢五厘

全 上雜種稅誤納下戻

金五圓貳拾錢

十七年度營業稅誤納下戻

○豫算金四千三百七拾圓八錢

一金○

豫備費

明治十九年十二月 告示

六百九十三

○豫算金五拾貳萬八千貳百貳拾九圓四拾七錢三厘
合計金五拾萬七千八百五拾四圓九拾五錢八厘

收入ノ部

○豫算金貳拾八萬貳百貳拾三圓四拾七錢

一金貳拾七萬七千六百四拾六圓九拾七錢九厘 地 租 割

但本年地租精算高百四拾貳萬千六百六拾四圓五拾七錢地租壹圓ニ付拾九錢六厘六毛
四四三三三三六二一

○外

○金千九百拾五圓貳拾八錢七厘

不納損失延納勘定除却及
免除等ニテ收入不足高

○豫算金五萬四千百圓六拾五錢

一金五萬五千六百九拾八圓六拾六錢四厘

營 業 稅

○外

○金四拾圓三拾八錢壹厘

不納損失延納勘定除却及
盜難等ニテ收入不足高

內 譯

○金四萬四千七百貳拾五圓八拾五錢

金四萬五千八百四拾壹圓四拾八錢九厘 商 業 稅

○金九千三百七拾四圓八拾錢

金九千八百五拾七圓拾七錢五厘 工 業 稅

○豫算金三萬二千四百七拾壹圓八錢七厘

一金三萬貳千五百四拾四圓八拾六錢七厘

雜 種 稅

○外

○金五拾五圓三拾四錢貳厘

不納損失延納勘定除
却等ニテ收入不足高

內 譯

○金千貳百八拾四圓七拾五錢

明治十九年十二月 告示

六百九十六

金千五百貳拾三圓四拾五錢

料理屋稅

○金七拾五錢

金○

待合茶屋稅

○金拾七圓

金拾四圓七拾五錢

芝居茶屋稅

○金貳千貳百三圓拾錢

金貳千六百貳拾九圓四錢五厘

飲食店稅

○金六百四拾六圓四拾錢

金七百貳拾七圓五拾錢

湯屋稅

○金千八拾八圓貳錢五厘

金千三百四拾六圓三錢七厘

理髮人稅

○金百七拾九圓四拾錢

金百七拾壹圓六拾六錢
 ○金百四拾九圓貳拾五錢
 金三拾九圓三拾七錢五厘
 ○金六百三拾五圓八拾五錢
 金三百八拾圓四拾七錢五厘
 ○金貳拾七圓
 金三拾九圓
 ○金貳百七拾壹圓五拾錢
 金貳百七拾七圓八拾七錢五厘
 ○金七千九拾八圓五拾錢
 金五千九百拾圓三拾錢貳厘
 ○金五百六拾四圓七拾七錢七厘

傭人受宿稅

○金百四拾九圓貳拾五錢

金三拾九圓三拾七錢五厘

遊藝師匠稅

○金六百三拾五圓八拾五錢

金三百八拾圓四拾七錢五厘

遊藝稼人稅

○金貳拾七圓

金三拾九圓

相撲稅

○金貳百七拾壹圓五拾錢

金貳百七拾七圓八拾七錢五厘

俳優稅

○金七千九拾八圓五拾錢

金五千九百拾圓三拾錢貳厘

藝技稅

○金五百六拾四圓七拾七錢七厘

明治十九年十二月 告示

六百九十七

- 金五百八拾壹圓拾四錢五厘 市場稅
- 金五百八拾六圓七拾貳錢 演劇稅
- 金四百六圓貳錢五厘 興行稅
- 金三百五圓五拾壹錢 遊覽所稅
- 金貳百七拾六圓七拾五錢七厘 遊枝場稅
- 金百貳拾壹圓五拾九錢 人寄席稅
- 金貳拾七圓三拾六錢
- 金百三拾四圓貳拾五錢
- 金百拾六圓七拾五錢
- 金拾五圓五拾錢
- 金貳拾四圓
- 金貳千貳百七拾九圓六拾五錢

- 金貳千四百五拾九圓七拾五錢 船稅
- 金壹萬千百貳拾壹圓七拾壹錢 車稅
- 金壹萬九百六拾九圓七拾六錢七厘
- 金千八百七拾六圓六拾貳錢五厘 水車稅
- 金千九百圓六拾六錢四厘 乘馬稅
- 金百貳拾八圓貳拾五錢 屠畜稅
- 金九拾九圓三拾七錢五厘 漁業稅
- 金三百六拾三圓
- 金三百七拾六圓
- 金貳千三百四拾五圓七拾五錢
- 金貳千八百八拾八圓六拾九錢
- 金貳拾六圓貳拾三錢

金貳拾圓貳拾四錢五錢

採藻稅

金貳圓四拾七錢

鳥獵稅

金拾五圓四拾錢

自轉車稅

金貳拾壹圓

煙花稅

○豫算金拾萬五千九百三拾壹圓八拾九錢

一金拾萬四千八百拾六圓貳拾貳錢四厘

戶數割

外金三拾三錢七厘 掛過

但現在賦課戶數十七万二千八百十六戶一戶ニ付六拾錢九厘

○外金四百貳拾八圓三拾八錢三厘

不納損失延納勘定除却及免除等ニテ收入不足高

○豫算金四拾七萬三千七百貳拾七圓九錢七厘

合計金四拾七萬七百六圓七拾三錢四厘

○外金

豫算金壹萬三千三百貳圓八拾九錢

○一金壹萬五千四百六拾貳圓三拾壹錢七厘

雜收入

○內

金百八拾八圓九拾八錢壹厘

○金貳百五拾圓三拾壹錢六厘

警察費雜入

金六拾錢

○金壹圓八拾九錢五厘

警察廳舍建築修繕費雜入

金五百八拾五圓八拾九錢八厘

○金七百拾圓拾九錢

土木費雜入

○內金六拾三圓三拾八錢九厘

並木拂下代

金六拾錢

○金四圓九拾壹錢

縣會議諸費雜入

- 金三百貳拾貳圓三拾貳錢七厘
衛生及病院費雜入
- 金六百五拾四圓壹厘
教育費雜入
- 金八百貳拾壹圓拾八錢
町村教育補助費雜入
- 金六圓貳拾七錢八厘
勸業費雜入
- 金六拾八圓拾八錢四厘
村町勸業補助費雜入
- 金壹萬百貳拾五圓三拾七錢五厘
縣監獄費雜入
- 金壹萬千貳百五拾八圓七拾四錢九厘
縣監獄廳舍建築修繕費雜入
- 金八拾壹錢壹厘
縣監獄廳舍建築修繕費雜入
- 金七拾九圓拾錢九厘
縣廳舍建築修繕費雜入
- 金六拾三圓五拾八錢壹厘
縣廳舍建築修繕費雜入
- 金五圓六拾九錢八厘
郡廳舍建築修繕費雜入

- 金五拾九圓五拾三錢貳厘
郡吏員給料旅費及廳中諸費雜入
- 金貳拾貳圓四拾七錢五厘
戶長以下給料旅費雜入
- 金三百拾五圓九拾貳錢貳厘
十七年度地租割延納
- 金百八拾七圓六拾六錢九厘
十七年度戶數割延納
- 金百四拾三圓四拾貳錢貳厘
十七年度營業稅延納
- 金四百五拾四圓六拾八錢五厘
十七年度雜種稅延納
- 金八拾圓九拾八錢三厘
地方稅戶長鈔取賠償金
- 金拾五圓五拾七錢六厘
地方稅不納官沒品拂下代
- 金三百拾七圓拾貳錢貳厘
地方稅不納官沒地拂下代
- 豫算金四千七百五拾四圓七拾六錢
- 一金四千六百七拾壹圓四錢八厘
前々年度繰越金
- 豫算金壹萬圓

明治十九年十二月 告示

七百四

○一金壹萬圓

前年度繰越金

豫算金壹萬三千九百六拾圓七拾貳錢六厘

○一金壹萬四千三拾壹圓五拾七錢七厘

國庫下渡金

豫算金壹萬四千四百八拾四圓

○一金壹萬四千四百八拾四圓

土木費補助金

豫算金五萬四千五百貳圓三拾七錢六厘

○計金五萬八千六百四拾八圓九拾四錢貳厘

○總計金五拾貳萬九千三百五拾五圓六拾七錢六厘

○告示第五十三號 十九年十二月廿五日

官國幣
社皇靈 御祭日記出版發賣差止ノ件

○告示第五十四號 十九年十二月廿八日

愛知縣ニ於テ賣藥自用者ノ所持セル無印紙賣藥處分方ノ義客月三十日付第三十一號ヲ以

テ告示及置候處今般石川縣長崎縣ハ來二十年一月末日迄青森縣ハ全年二月十五日迄岡山

縣栃木縣廣島縣鹿兒島縣ハ全年二月末日迄京都府ハ全年三月末日迄ニ何等申出サルモノ

ハ毀却スヘキ旨該府縣内へ令達セン趣ニ付若シ本縣下ノモノニシテ該府縣下ノモノヘ無

印紙ノ賣藥ヲ授受セシモノハ右期日迄ニ其買受又ハ預リ主ノ所屬戶長役場へ申出ヘシ

但新潟縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ義本月九日付第三十五號ヲ以テ告示及置候處更

ニ來二十年二月末日迄延期セン旨該縣ヨリ申越タリ

○告示第一號 二十年一月六日

第三第四軍管當縣管内ニ屬スル明治二十年徵兵徵集人員ハ左ノ如シ

第三軍管ニ屬スル分

近衛現役步兵

二十六人

全 騎兵

二人

全 砲兵

二人

明治二十年一月 告示

七百五

明治二十年一月 告示

七百六

全	工兵	一	人
鎮臺現役步兵		二百二十	人
全	砲兵	十九	人
全	工兵	五	人
全	輜重兵	五	人
全	輜重輪卒	四十四	人
全	看護卒	七	人
全	鞍工	一	人
全	銃工	一	人
全	縫工	一	人
全	靴工	一	人
海軍現役水兵		七十二	人

全 火夫 一 人
 合計三百四十八人
 第四軍管ニ屬スル分

全	砲兵	四	人
近衛現役步兵		一	人
鎮臺現役步兵		三十四	人
全	砲兵	三	人
全	工兵	二	人
全	輜重兵	一	人
全	輜重輪卒	七	人
全	看護卒	一	人
全	靴工	一	人

明治二十年一月 告示

七百七

明治二十年一月 告示

七百八

合計五十四人

○告示第二號 二十年一月七日

調法二十年一覽出版發賣差止ノ件

○告示第三號 二十年一月八日

明治二十年度地方稅收入豫算及支出豫算通常縣會ノ決議ヲ以テ左ノ通相定ム

明治二十年度地方稅收入豫算

(〇ハ朱書)

一金貳拾萬四千貳百九拾圓九拾四錢四厘

地租

但本年地租豫算高百四拾貳萬八千六百八圓地租金壹圓ニ付金拾四錢三厘

一金五萬九千六百貳拾九圓四拾錢

營業稅

內金譯

金五萬四千八拾七圓八

商業稅

金五千五百四拾貳圓四拾錢

工業稅

一金四萬貳千七拾八圓三拾五錢五厘

雜種稅

內金譯

金千三百五拾圓

料理屋稅

金貳拾圓

芝居茶屋稅

金貳千六百貳圓六拾錢

飲食店稅

金千圓五拾錢

湯屋稅

金千六百九拾四圓四拾五錢

理髮人稅

金貳百四拾六圓四拾錢

傭人受宿稅

金三拾五圓五拾錢

遊藝師匠稅

金五百貳圓

遊藝稼人稅

金五拾貳圓五拾錢

相撲稅

金三百七拾四圓貳拾五錢

俳優稅

明治二十年一月 告示

七百九

金七千八百九拾壹圓	藝妓稅
金七百七拾四圓八拾六錢	市場稅
金五百四拾壹圓五拾三錢	演劇稅
金三百六拾九圓八錢四厘	興行稅
金三拾六圓五拾錢七厘	遊覽所稅
金百五拾六圓	遊技場稅
金三拾貳圓	人寄席稅
金四千百三圓拾錢	船稅
金壹萬四千五百四拾九圓五拾錢	車稅
金貳千五百三拾四圓拾四錢	水車稅
金百三拾六圓	乘馬稅
金貳百貳拾五圓六拾錢	屠畜稅

金貳千七百八拾圓八錢四厘	漁業稅
金貳拾七圓	探礦稅
金三圓貳拾五錢	鳥獵稅
金拾九圓五拾錢	自轉車稅
金貳拾壹圓	烟火稅
金八萬七千三百七拾貳圓九拾三錢六厘	戶數
合計金三拾九萬三千三百七拾壹圓六拾三錢五厘	但明治十九年一月調總戶數拾七萬三千三百五拾九戶壹戶二付金五拾錢四厘
○外	雜
○內	收
金三百四拾三圓五拾錢	入
	警察費雜入

明治二十年一月 告示

七百十二

- 金貳圓五拾錢
 - 金七百五拾壹圓八拾錢九厘
 - 內金六拾七圓五拾錢
 - 金六拾九錢
 - 金貳千五百五拾圓七拾貳錢六厘
 - 金四百三圓貳拾錢
 - 金壹萬四千九百五拾九圓
 - 金三百拾五圓拾壹錢貳厘
 - 金七拾七圓三拾八錢
 - 金三圓
 - 金貳拾六圓
 - 金三百八拾八圓四拾錢三厘
- 警察廳舍建築修繕費雜入
 - 土木費雜入
 - 並木拂下代
 - 縣會議諸費雜入
 - 衛生及病院費雜入
 - 教育費雜入
 - 縣監獄費雜入
 - 勸業費雜入
 - 縣廳舍建築修繕費雜入
 - 郡吏員給料旅費及廳中諸費雜入
 - 戶長以下給料旅費雜入
 - 十九年度地租割延納

- 金百七拾貳圓三拾三錢九厘
 - 金七拾壹圓九拾三錢六厘
 - 金貳百貳拾八圓五拾九錢三厘
 - 金四拾五圓六錢壹厘
 - 金拾貳圓五拾五錢三厘
 - 金貳百三拾圓
 - 金五拾六圓七拾四錢八厘
 - 金壹萬八千百七拾五圓五拾四錢三厘
 - 總計金四拾三萬三千百八拾五圓七拾貳錢八厘
- 明治二十年度地方稅支出豫算
- 內
 - 一金七萬八千六百四拾五圓四拾貳錢七厘
- 全 戶數割延納
 - 全 營業稅延納
 - 全 雜種稅延納
 - 地方稅戶長竊取賠償金
 - 地方稅不納官沒品拂下代
 - 全 官沒地拂下代
 - 前々年度繰越金
 - 國庫下渡金
- 警察 費

明治二十年一月 告示

七百十三

明治二十年一月 告示

七百十四

○金六萬四百九拾六圓四拾八錢貳厘

地方稅

○金壹萬八千四百四拾八圓九拾四錢五厘

國庫下渡金

內譯

金四萬七千四百廿五圓

俸給

金壹萬九千九百廿壹圓四拾貳錢七厘

雜給

金壹萬千貳百九拾九圓

廳費

一金百拾五圓貳拾五錢九厘

警察廳舍建築修繕費

內

○金八拾八圓六拾六錢壹厘

地方稅

○金貳拾六圓五拾九錢八厘

國庫下渡金

內譯

金百拾五圓貳拾五錢九厘

修繕費

一金四萬六千貳百四拾壹圓七拾六錢九厘

土木費

內譯

金壹萬八千三百八拾壹圓壹錢四厘

道路橋梁費

金貳萬七千八百六拾圓七拾五錢五厘

治水堤防費

一金七千九百四拾貳圓廿錢八厘

町村土木補助費

一金五千七百七拾壹圓八拾八錢貳厘

縣會議諸費

內譯

金貳千四百圓

俸給

金貳千七百九拾八圓四拾錢

雜給

金五百七拾三圓四拾八錢貳錢

雜費

一金七千圓六拾九錢

衛生及病院費

內譯

明治二十一年 告示

七百十五

金三百貳圓拾九錢貳厘
 金六千五百七拾貳圓四錢八厘
 金百貳拾六圓四拾五錢
 一金三萬四千四百六拾圓八拾七錢四厘

內譯

金壹萬七千七百廿九圓三拾七錢
 金壹萬五千七百七拾三圓三拾壹錢
 金三百壹圓六錢九厘
 金貳百〇貳圓
 金四百五拾五圓拾貳錢五厘
 一金六千五百五拾貳圓
 一金百四拾八圓貳拾貳錢九厘

衛生費
 病院費
 傳染病豫防費
 教育費
 尋常範師學校費
 尋常中學校費
 印刷費
 生徒遊學費
 教育會費
 町村教育補助費
 郡廳舍建築修繕費

內譯

金百四拾八圓貳拾貳錢九厘
 一金五萬九千六百廿八圓九錢四厘
 內譯
 金三萬七千三百五拾圓
 金八千四百拾九圓五拾錢
 金壹萬三千八百五拾八圓五拾九錢四厘
 一金四百五拾九圓五拾錢四厘
 內譯
 金拾八圓拾錢
 金六圓

修繕費
 郡吏員給料旅費及廳中諸費
 俸給
 雜給
 廳費
 教育費
 浦役場及難破船諸費
 浦役場費
 難破船諸費

一金三百六拾壹圓八拾三錢八厘

諸達書及揭示諸費

內譯

金三百四拾七圓九拾壹錢貳厘

諸達書費

金拾三圓九拾貳錢六厘

揭示諸費

一金三千貳百八拾七圓八拾九錢貳厘

勸業費

一金拾萬三百六拾貳圓三拾五錢

戶長以下給料旅費

內譯

金八萬五千四百拾壹圓貳拾錢

俸給

金壹萬四千九百五拾壹圓拾五錢

雜給

一金九百拾七圓

地方稅取扱費

一金八百三拾三圓五拾貳錢

縣廳舍建築修繕費

內譯

金百九圓

建築費

金七百廿四圓五拾貳錢

修繕費

一金七萬三千貳百四拾貳圓四拾四錢五厘

縣監獄費

內譯

金壹萬千貳百五拾六圓

俸給

金貳萬〇百〇五圓三拾七錢貳厘

雜給

金三千七百三拾六圓拾錢

廳費

金貳千五百七拾八圓三拾錢

未決囚諸費

金三萬五千五百六拾六圓六拾七錢三厘

已決囚諸費

一金千五百三拾七圓八拾七錢六厘

縣監獄建築修繕費

內譯

金九百拾九圓拾九錢四厘

建築費

金六百拾八圓六拾八錢貳厘

修繕費

一金五千六百五拾貳圓七拾七錢壹厘

豫備費

合計金四拾三萬三千百八拾五圓七拾貳錢八厘

○告示第四號 二十年一月十三日

零曆出版發賣差止ノ件

○告示第五號 二十年一月十五日

地券紛失ノ件

○告示第六號 二十年一月十五日

地券并諸鑑札紛失盜難ノ件

○告示第七號 二十年一月十五日

零曆出版發賣差止ノ件

○告示第八號 二十年一月廿二日

入林之證(安濃郡岩田宮ノ前國分市太郎(下付ノ分)入林鑑札(度會郡宇治館町字仁源七(下付ノ分)紛失

○告示第九號 二十年一月廿五日

愛知縣ニ於テ賣藥自用者ノ所持スル無印紙賣藥處分方ノ儀客年十一月卅日付第卅一號ヲ以テ告示及置候處今般宮崎縣、福島縣、兵庫縣、山形縣、大分縣、福岡縣ニ於テハ來ル二月末日限リ鳥根縣、大坂府、鳥取縣、高知縣、滋賀縣ニ於テハ來ル三月末日迄ニ何等申出サルモノハ便宜毀却スヘキ旨該管内ヘ布令セシ趣ニ付若シ本縣下ノモノニシテ該縣下ノモノヘ無印紙ノ賣藥ヲ授受セシモノハ右期日迄ニ其買受人又ハ預リ主ノ所屬戶長役場ヘ申出ヘシ

但愛媛縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ儀客年十二月廿一日付第四十八號ヲ以テ告示及置候處更ニ來ル二月末日迄延期セシ旨該縣ヨリ申越シタリ

○告示第十號 二十年一月廿六日

明治十九年(十二月)縣令第二十九號縣會議員補欠員左記ノ適當撰セリ

飯高郡松坂西町平民

小野 高秋

○告示第十一號 二十年一月廿六日

植物舊考出版發賣差止ノ件

○告示第十二號 二十年一月廿六日

本年六月海軍兵學校生徒五十五名召募ニ付志願ノ者ハ左記同校廣告書ノ手續ヲ領知シ速ニ出願スヘシ(本年告示第二十二号ヲ以改正ニ付左記畧ス)

但シ戸長ニ於テ誕辰証書ニ保証ヲ與ヘタル片ハ其族籍姓名等ヲ具シ當廳へ報告スヘシ

○告示第十三號 二十年一月二十九日

度會郡宇治浦田町溝口善吉雇夫へ下付ノ入林鑑札紛失ノ件

○告示第十四號 二十年一月卅一日

明治十九年(十二月)縣令第二十三號縣會議員補欠員左ノ適當撰セリ

南牟婁郡阿田和村平民

鈴木 榮一

○告示第十五號 二十年一月三十一日

諸鑑札紛失遺失盜難ノ件

○告示第十六號 二十年二月

地券紛失ノ件

○告示第十七號 二十年二月

地券紛失ノ件

○告示第十八號 二十年二月一日

他府縣ノモノ和歌山縣ニ至リ宿泊スル旅舎ニ於テ店舗ト見認ムヘキモノヲ開クモノノ類及捕魚採藻者ハ本籍地ニ於テ納税ノ濟否ヲ問ハス該縣ノ規則ニ據リ地方税ヲ賦課スル旨

明治二十年二月 告示

七百二十四

全縣ヨリ申越候條此旨心得ヘシ

○告示第十五號 二十年二月二日

明治十九年大藏省令第二十三號ニ遵テ賣藥印紙ノ交換ヲ求メント欲スルモノハ便宜ノ爲メ其行商先所屬ノ管廳ニ願出テ該藥毀却ノ証明ヲ受ケタル上其毀却シタル印紙ニ對シ相當新印紙ノ下付ヲ賣藥營業所在地ノ管廳ニ願出ルヲ得ヘシ

○告示第二十號 二十年二月三日

本年第一期安濃津重罪裁判所本月一日開廳ノ通知

○告示第二十一號 二十年二月八日

安濃郡

藤方村ノ内藤枝町

藤枝町

塔世村ノ内塔世茶屋町

右町名脇書之通改稱ス

塔世茶屋町

○告示第二十三號 二十年二月十日

本年(一月)當縣告示第十二號海軍兵學校廣告書ハ左之通改正セシ旨同校ヨリ通牒アリ

一明治二十年六月當校生徒五十五名召募候條慶應三年七月一日以後明治四年六月卅日以前出生ニテ志願ノ者ハ華士族平民ヲ論セズ同年五月十日限リ雛形ノ通り願書へ誕辰證

書并ニ履歷書相添東京府ヲ經テ當校へ差出スベシ

但シ東京府下ニ住居ノ父兄親族或ハ其他一家ヲ成ス者二名身元引受人ニ立ツベシ尤其一名ハ地所家屋ヲ所有スル者ニ限ル

明治二十年二月 告示

七百二十五

願書式 用紙美濃紙二折正副

海軍兵學校生徒願

何府縣華士族平民
戶主或ハ何某男又ハ伯叔甥附籍
何府縣何國何郡區何町村何番地
住或ハ寄留

姓 名

右之者海軍出身志願ニ付御検査ノ上
兵學校生徒ニ御採用相成候様致度誕
辰證書并ニ履歷書相添此段奉願候也

年號月日

何府縣華士族平民

何府縣何國何郡區何町村何番地

居住

身元引受人

姓 名 印

同

姓 名 印

海軍兵學校長官姓名殿

折返シ

前文願之趣相違無之候條御試檢之上
御採用有之度候也
年號月日 東京府知事姓名印

誕辰證書式用紙美濃紙二折

誕辰證書

何府縣華士族平民

姓 名

何府縣何國何郡區何町村ニ於テ何年
何月何日生

右之通相違無之候也

年號月日

身元引受人

姓 名 印

同

姓 名 印

前書保證候也

何府縣何郡區何町村

年號月日 本籍ノ區戶 區戶長姓名印
長ニ限ル

履歷書式用紙美濃紙二折

履歷書

何府縣華士族平民

姓 名

一 生長ノ地名

一 教育ヲ受タル學科年月校塾師名等

一 職業技藝等アレハ之ヲ記ス

一 官廳會社等ノ職務ニ從事シタル者

一 賞罰等ヲ受タル者ハ之ヲ記ス

一 右之通相違無之候也

年號月日

身元引受人

姓 名 印

同

姓 名 印

一 志願者身體検査學科試験合格ノ者ヨリ撰ヒテ入校ヲ許シ入校ノ日ヨリ衣食并ニ稻古用

諸具等悉皆官費ヲ以テ給與ス
一右入校ヲ許スルハ身元引受人ヨリ引受證書并ニ族籍證書ヲ出サシメ本人ヨリハ誓書ヲ出サシム

但シ證書式ハ此ニ略ス

一第一身体ノ検査

但シ不合格ノ者ハ學科試験ヲナサズ

一第二試験ノ科目左ノ如シ

○漢文

史類 句讀訓點

作文 尺牘遊記論文

○數學

平算

○英文

文法

和文英譯

代數 四術カ多元二次方程式ニ至ル其外
開注自乘法指數法不盡根數比比例

書取

英文和譯

明治二十年一月

○告示第二十四號

二十年二月十四日

旅行めんね出版發賣差止リ件

○告示第二十五號 二十年二月十五日

明治十九年度地方稅收支追加豫算府縣會規則第三十七條第二項ニ依リ常置委員會ノ決議ヲ以テ左ノ通相定ム

收入之部

○一金三千八百三拾九圓

支出之部

一金三千圓

會話

海軍兵學校

○印ハ朱書

國庫補助下渡金

衛生及病院費

但傳染病豫防費

一金三百拾五圓

郡吏員給料旅費及廳中諸費

一金三百圓

但俸給

一金五百貳拾四圓

戶長以下給料旅費

金四百貳拾四圓

俸給

金四百圓

雜給

告示第二十六號

告示第二十七號

明治十九年告示第四號種苗請求規則中追加(改訂)

告示第二十七號 二十年二月十八日

宮城縣士族島津利弘宮城縣尋常師範學校在學中不應爲ノ所行有之自今文部省直轄官立學校及府縣公私立學校へ入學禁止ノ件

告示第二十八號 二十年二月廿一日

農商日用吉凶辨覽出版發賣差止ノ件

告示第廿九號 二十年二月廿三日

萬民必携諸用便出版發賣差止ノ件

告示第三十號 二十年二月廿六日

零曆出版發賣差止ノ件

告示第三十一號 二十年二月廿六日

皇太后宮來ル三月三日京都

御發輿管内 御休宿劄左ノ通被 仰出タリ

三月四日

御小休

鈴鹿郡阪下村字

鈴鹿縣

同郡

同郡

坂下驛

御野立

同 郡市ノ瀬村字

筆 捨

御泊 同郡 關 驛

三月五日

御小休 奄藝郡 椋木村

御晝休 同郡 一身田村

御泊 安濃郡 津 驛

三月六日

御小休 一志郡 島貫村

御晝休 飯高郡 松坂驛

御小休 多氣郡 齋宮村

同 度會郡 小俣村

御召換 同郡 山田宮川町

御泊 同郡 山 田

三月七日

御晝休 同郡 宇 治

御泊 同郡江村字 二 見

三月八日

御晝休 若志郡 鳥 羽

御乘艦

○告示第三十二號 二十年三月一日

愛知縣ニ於テ賣藥自用者ノ所持スル無印紙賣藥處分方ノ義客年十一月三十一日付第三十一號ヲ以テ告示及置候處今般富山縣福井縣ニ於テハ本月末日迄ニ何等申出サルモノハ便宜毀却スヘキ旨該管内ヘ布令セシ趣ニ付若シ本縣下ノモノコソテ該縣下ノモノ、無印紙ノ賣藥ヲ授受セシモノハ右期日迄ニ其買受人又ハ預リ主ノ所屬戸長役場ヘ申出ヘン但岡山縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ義客年十二月廿八日付第五十四號ヲ以テ告示及置候處

更ニ本月末日迄延期セシ旨該縣ヨリ申越タリ
 ○告示第三十三號 二十年三月三日
 三重縣師範學校ヲ三重縣尋常師範學校三重縣津中學校ヲ三重縣尋常中學校ト改稱ス
 ○告示第三十四號 二十年三月四日
 大坂府下ニ於テ貸座敷及娼妓稼業ヲ爲サントスル者(送籍ノ上稼業ヲ爲サントスル者モ包含ス)及從前許可セシ者ニテ稼業満期之際繼續出願ノモノハ所轄郡役所ノ添翰ヲ受ケ携帶スベシ
 ○告示第三十五號 二十年三月六日
 皇太后宮 還御御休泊制本月七日以后左ノ通改定 被仰出タリ

三月七日
 御泊 江 村 字二見
 同日八日

御晝 江 村 字二見

御小休 鳥 羽

御乘艦 同日午後三時

御發艦 同日午後四時

○告示第三十六號 二十年三月十一日

山形縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ義本年一月二十五日第九號ヲ以テ告示及置候處更ニ
 本月三十一日迄延期セシ旨該縣ヨリ申越シタリ

○告示第三十七號 二十年三月十一日

廣島縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ義客年十二月二十八日付第五十四號ヲ以テ告示及置
 候更ニ本月末日迄延期セシ旨該縣ヨリ申越タリ

○告示第三十八號 二十年三月

地券紛失ノ件

○告示第三十九號 二十年三月十二日
地券紛失ノ件

○告示第四十號 二十年三月十六日
文部省令第十號ニ據リ本縣尋常師範學校ニ於テ生徒七十九名募集候條志願ノ者ハ來ル四月八日限リ願書差出シ今月十一日午前第九時筆紙墨辨當持參全校へ出願スヘシ
但本年徵兵適齡ニシテ徵集ニ當ルモノハ志願スルヲ得ス

○告示第四十一號 二十年三月十六日
大分縣ニ於テ無印紙賣藥處分期限ノ義本年一月二十五日第九號ヲ以告示及置候處更ニ本月三十一日迄延期セシ旨該縣ヨリ申越シタリ

○告示第四十二號 二十年三月十七日
長崎縣内ニ於テ他府縣ノモノ漁業スル時ハ自今同縣ノ稅則ニヨリ相當ノ税金徵收スヘキ旨該縣ヨリ照會セリ

○告示第四十三號 二十年三月十九日

安濃津始審裁判所檢事内田常矩上京不在中檢事補羽生田乙次郎事務代理候通知

○告示第四十四號 二十年三月十九日

明治十八年第二十八號布告獸醫免許規則實施以後本縣甲第四十號布達ハ消滅ニ屬シ追々鑑札返納致來候處自然返納洩有之モ該鑑札ハ無効タルヘシ

○告示第四十五號 二十年三月二十二日 朝明郡

- 羽津村
- 八幡村
- 吉澤村
- 別名村
- 鶴村
- 合併羽津村